

2024(令和6)年度

事業報告書

一般社団法人アート・インクルージョン



目次

1. 2024（令和6）年度事業成果と総括	3
2. アートによる自己表現＝創造事業「うみだす事業」	4
(1)障害を持つ人との表現活動	
(2)こどもや高齢者との表現活動	
(3)外国につながる人との表現活動	
(4)性についての表現活動	
(5)アートに興味のない人との表現活動	
3. アートによる交流・協働事業「つながる事業」	20
(1)Aiを拠点とした交流・協働事業	
(2)地域との交流・協働事業	
(3)他団体・地元企業・行政との協働事業	
(4)ボランティアコミュニティの創設と運営事業	
4. アートによる仕事づくり事業「仕事にする事業」	47
(1)コンテンツ開発	
(2)製品部門のブランド立ち上げ	
(3)販路開拓	
(4)アートを仕事にするネットワーク環境形成事業	
5. パブリシティとファンドレイジング事業「つたえる事業」	58

1. 2024（令和6）年度事業成果と総括

代表理事 門脇篤

2010年にアート・インクルージョンが活動を開始する際、表明したステートメントに、「性別や年齢、国籍、障害のあるなし、アートの知識やスキルのあるなしに関わらず、すべてのひとをアートの持つ力で包み込む社会を目指す」というものがあります。私はこれに賛同し、アート・インクルージョンという活動に参画してきました。

活動から14年、福祉サービス事業所の設立から12年がたち、Aiファクトリーの運営が軌道に乗る一方、学びの多様化や少子高齢化、外国からの市民の受け入れ、懲罰刑から社会復帰の準備期間への刑務所の位置付けの変革など、アート・インクルージョンが当初から射程にしていた領域であって、やっと社会の意識も成熟してきたものや、当初は明確には想定していなかったものについて、改めてもう一度とらえなおし、チャレンジしていくべき時期になってきたと考え、2024年度の事業方針を「とらえなおし、方向を与える」としました。2024年度に取り組んで来たさまざまな事業を振り返るに、まさにこの「とらえなおし、方向を与える」1年になったと考えています。

世界は人権尊重とインクルーシブ社会の実現に向けて不断の歩みを進めており、そうした歩みは、速度の速い遅いはあれど、今後止まることはないでしょう。もちろんそれはほおっておいてもそうなるというものではなく、実際、現在、アメリカやイスラエル、ロシアなどの一部の権力者やそれに追随しようとする人々におけるような、人権尊重という人類の最も価値ある歩みに対する信じられないような愚行と過ちがあることも確かであり、私たち全ての人間が不断の努力を惜しまずに希求し、実際に行動していかなければならない営みでもあります。

そうした中、つまり人権尊重とインクルーシブ社会のさらなる実現に向けて歩みつづけるのが当然と考えられるようになった社会の中で、問題はその実現を目指すことから、いかにそれを実現させるのかへと移っています。誰もが人権が大切であり、多様性が当然だと考えながら、ではそれが実際には何なのかのこたえを探しています。アートを通してあらゆる人を包摂していく取り組みを行なって来たアート・インクルージョンのこれまでの地道な実践こそが、そのこたえのひとつであり、行政や企業、他団体からさまざまな相談や依頼が舞い込んでいる現状は、まさにそれを裏付けていると言えます。

現在、「音楽の父」と呼ばれ、誰ひとり知らぬ人もないヨハン・セバスチャン・バッハは、彼が生きた時代、イタリアを中心としたヨーロッパ文化圏においては片田舎の「小川」（バッハはドイツ語で「小川」の意味）に過ぎなかったと言います。私にはこのエピソードを思うたびに、日本の東北という地で自分たちの桃源郷を作り出し、普遍的な人類の価値を追究しつづけているアート・インクルージョンの営みと重なって見えます。

これからも自分たちの道を、さまざまな角度からながめながら、人類が気づいて来た最上の価値を、アートという回路によって推し進める活動を行なっていきたいと考えています。

2. アートによる自己表現＝創造事業「うみだす事業」

(1)障害を持つ人との表現活動：

就労継続支援B型事業所「アート・インクルージョン・ファクトリー」の運営事業

① Aiファクトリーの運営状況

①月別平均利用者数

2024年度の月別平均利用者数は以下の通り(通所、在宅の合計)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
25人	25人	24人	24人	26人	23人	27人	26人	26人	25人	25人	25人

②「プログラム」

パートナーとスタッフでつくるプログラム、外部講師とのワークショップ、Ai主催事業の企画・運営、他団体・地域の主催事業などへの参加を行った。

(i)パートナーとスタッフでつくるプログラム

- ・朝の会、帰りの会
- ・制作タイム
- ・商品作り
- ・アート・プログラム
- ・コミュニケーション
- ・アロマセラピーのワークショップ
- ・パフォーマンスデー
- ・映画デー
- ・ステージ練習
- ・女子会、男子会



長町街歩き

(ii)外部講師によるワークショップ

- ・手話 (zoom利用)・・・月1回

講師の穀田千賀子氏にご協力頂き、上半期はオンラインでのプログラムを実施。スタッフが手話を日常に取り入れられるように、挨拶や日付などを学んだ。「散歩」「クリスマスソング」などの歌を題材に用いて、楽しく取り組めるプログラム作りにご尽力いただいた。

- ・音楽・・・月1回

講師の及川久美子氏にご協力いただき、体や顔のこわばりをほぐすストレッチや発声練習を実施。リラックスして参加ができる雰囲気の中、様々な楽器を用いて、リズムを楽しむプログラム作りを実施いただいた。

・音楽２・・・月１回

講師の本郷由起子氏にご協力いただき、発声練習やリズム遊びなど、楽しく参加ができるプログラムを実施いただいた。一人一人の個性やペースに合わせて様々な題材を提案いただき、枠にとらわれない表現の時間作りにご尽力いただいた。

・クレイ粘土・・・月１回

講師の松並京子氏をはじめ、井上節子氏、渡辺久美子氏にご協力いただき、クレイ粘土を使った制作を実施。スタッフとのコミュニケーションを大事にした関わりや、それぞれのスタッフの個性に合わせた細やかな気配りなど、スタッフが安心して取り組める環境作りにご尽力いただいた。制作した粘土作品は、ウェルカムパーティでのブローチやフードバンク東北あがいんでのクリスマスリースワークショップにて装飾パーツとして活用した。

・クリニカルアート・・・月１回

講師の小野寺良枝氏にご協力いただき、スタッフの個性やペースに合わせたコミュニケーションやスタッフが取り組みやすい制作方法を細かく研究いただき、様々な技法を取り入れたプログラムを実施いただいた。



・身体アート・・・月１回

講師の渋谷裕子氏にご協力いただき、ストレッチや体を意識したプログラムを実施。個々の持つ個性や感性を引き出すような働きかけにご尽力いただき、互いの動きを感じ取ることで、相互コミュニケーションへと繋がり、表現力を高める時間となった。

・運動の時間・・・月１回

講師としてフットサルチームヴォスクオーレ仙台のコーチにご協力いただいた。ストレッチや筋力トレーニングをはじめ、ボールや障害物を使い、きつ過ぎず簡単すぎない、程よい負荷の運動を行った。スタッフの体力やペース、反応に合わせて、楽しく取り組めるプログラムの考案に尽力いただいた。

・絵本のとびら・・・月１回

講師の村松由里子氏にご協力いただき、毎回３冊の絵本を読んでいただいた。絵本から感じ取った気持ちを皆で共有し、それぞれの視点や価値観に触れる機会となった。

・ダンスの時間・・・月１回

講師の今野慎一郎氏にご協力いただき、２０２４年度からの新プログラムとして導入いただいた。さまざまな曲を流しながら楽しく体を動かし、１年続けた事でスタッフみんなの動きが軽やかになった様子が伺える。

・シルクスクリーン・・・２０２４年より開始

講師の大江よう氏にご協力いただき、シルクスクリーンを活用した商品開発を行った。引き続き2025年度も共に商品開発を行っていく。



(iii) Ai主催事業の企画・運営

- ・アート・インクルージョン2024
- ・オンライン展覧会 & ライブ&トーク
- ・Aiどんどこ市
- ・Aiオープンスタジオ
- ・アートとしごとラボ2024
- ・うめえなぁ〜お花見マルシェ

(iv) 他団体・地域の主催、共催事業、受注作業

- ・みんなのマルシェin ブランチ仙台
- ・勾当台公園福の市
- ・ふれあい製品販売会
- ・Fujisaki Day
- ・見本市
- ・せんだいクラシックフェスティバル展示
- ・人形劇ワークショップ
- ・暮らしの市
- ・河原町マルシェ
- ・楽楽楽文化祭2024
- ・とっておきの音楽祭
- ・ウェルフェア仙台2024
- ・福聚幼稚園バザー販売
- ・DATENA SENDAI COLLECTION
- ・フラットシアターフェスティバル
- ・東北大学夏セミ・冬セミ販売
- ・東北楽天サステナブルデー販売
- ・東北ダンスフェスティバル
- ・ダンス デ ダンス
- ・スロウ日和
- ・アート食堂
- ・びすた〜り榴ヶ岡での展示・販売
- ・仙台七タわたあめ販売
- ・ヴォスクオーレ仙台ホームゲームでの出店
- ・第21回当事者研究全国交流会東北大会



東北ダンスフェスティバル



ダンス デ ダンス



楽天球団サステナブルデーでの販売



とっておきの音楽祭2024

(v)その他の活動

- ・東北楽天ゴールデンイーグルス試合観戦
- ・お花見
- ・仙台市科学館
- ・長町街歩き
- ・株式会社AZOTH見学

(vi)就労体験

- ・マイナビレディース
- ・ヴォスクオーレ仙台
- ・ベガルタ仙台

②総括

2024年度末のアート・インクルージョン・ファクトリー(以下、Ai)の利用者数は33名。4月1日には新たに2名のスタッフを迎え、仙台市福祉プラザにて開催したウェルカムパーティにて関係者へと紹介することができた。当日はスタッフ・パートナー他、ご家族、講師、相談支援専門員やAiに関わる方々約80名が集い交流した。また、今年度は家族会を2回開催することができ、ご家族のもつ不安や疑問などを共有し交流する機会へと繋がった。



新入スタッフのお二人



ウェルカムパーティの様子

オンラインでの展覧会、トーク・ライブ企画は、今年度は週末開催から平日の開催へと変更し、引き続き月1回のペースで開催した。

この他、スタッフが提案・企画し、主体となって参加する活動の機会を重視し、駄菓子を販売する「たかぴい商店」や「むかし遊びコーナー」「似顔絵」「粘土作品実演販売」「ライブペインティング」「ピアサポート」などの企画が数多く実施された。スタッフそれぞれの持ち味や強みを発揮する場のひろがりとともに、地域の方々との交流の機会へと繋がった。



似顔絵コーナー(Aiどんどこ市)



実演販売の様子(Aiどんどこ市)



昔遊びコーナー(お花見マルシェ)



ピアサポート活動(お花見マルシェ)



ライブペインティング(お花見マルシェ)

在宅サービス利用について、昨年度に利用許可が下りたスタッフは引き続き在宅での活動を取り入れた。在宅サービス利用者との連絡には、電話やLINE、zoomを用いてコミュニケーションを図り、本人の希望や体調を細かく把握し、ご家族との情報共有や連携を取りながら支援につとめた。

この他、2021年より参加している仙台市のフードドライブ事業にて、引き続き運搬団体として週1回月曜日にイオン仙台店と藤崎百貨店から、2週に1回金曜日に仙台市市民活動サポートセンターからの食品回収をボランティアとして継続している。食品回収には5～6名のスタッフが、賞味期限のチェックにはさらに5名程度のスタッフが参加している。食品ロスへの関心や母子世帯、外国人留学生など、フードバンクを利用する方々が置かれている現状への理解の深まりとともに主体的な関わりが見られた。2025年2月からはイオン仙台店閉店に伴い、藤崎と仙台市市民活動サポートセンターの2カ所を担当することとなった。

施設外での取り組みとして、昨年に引き続きNPO法人仙台市精神保健福祉団体連絡協議会が実施し、活動場所としてAiを拠点とするピアサポーターの集いや当事者研究会への参加により、更なる関心の深まりへと繋がった。2025年3月22日に東京エレクトロンホール宮城にて開催された「第21回当事者研究全国交流会東北大会」では、協力団体として参加。スタッフ、パートナー共に実行委員として企画に関わった。また、フライヤーや名刺に使用するイラストの描き下ろしや缶バッチの制作、動画撮影には多くのスタッフが関わり、さまざまな形で当事者活動に参加する機会を得ることができた。



第21回当事者研究全国交流会東北大会の様子(司会進行・音響・撮影を担当)

当事者活動として、仙台市社会福祉協議会と仙台市障害者福祉協会の事業である企業や市民向けの「仙台市障害理解サポーター養成研修」の派遣講師としての活動にスタッフ1名が参加し、十数回の講師活動を行った。

ほっぷの森～月一カレッジでの講演など、自身の経験を通した活動を行った。



月1カレッジでの高橋

昨年に引き続き、DATENA SENDAI COLLECTIONにモデルとして参加。夏開催当日は悪天候の為室内開催となった。



DATENA SENDAI COLLECTION

東日本大震災以降、各地で復興支援活動を行ってきた、秋田県を拠点とする『ブロンズ道心』の皆さんによるライブパフォーマンスをAiギャラリーにて行い、楽器の体験や交流の機会となった。

楽天イーグルスドリームシートでの無料観戦やヴォスクオーレ仙台の無料観戦にご招待を頂き、スポーツにも触れることができた。

野外活動として、恐竜山への登山を体験。



ブロンズ道心の皆さまとA i スタッフ



楽天イーグルスホームゲーム観戦の様子



ヴォスクオーレ仙台ホームゲーム観戦の様子



恐竜山登山の様子



今年度初めての取り組みとして、仙台七夕への七夕飾り掲出を行った。七夕飾り制作にはスタッフのご家族やAiの活動にご賛同頂いている地域の方々にご協力を頂き、交流へと繋がった。また例年に引き続き、わたあめの販売を七十七銀行一番町支店前にて行った。





毎年挑戦している宮城チャレンジプロジェクトを実施する赤い羽根共同募金会による募金開始セレモニーに参加。



(2)こどもとの表現活動

①NPO法人ふうどばんく東北AGAINとの連携事業

ふうどばんく東北AGAINの「とみやっこプレーパーク」で富谷市などのこどもたちと継続してクリエイティブな遊び場を作りました。また、「こどもアート食堂」を開催しました。

詳しい内容は、「3.アートによる交流・協働事業「つながる事業」」の「(3)他団体との交流・協働事業」の「③ふうどばんく東北AGAIN」（p38）に記載しました。

②多賀城市市民活動サポートセンター(たがさぼ)との連携事業

多賀城市市民活動サポートセンターで毎年12月に行なっている「たがさぼクリスマス雑貨市」では、開催の4ヶ月前の9月から小中学生の「キッズボランティア」を募集。3回にわたる研修を行い、当日の企画運営やボランティアを行なっています。並行して、地元をはじめとした企業を巻き込んでのマルシェ出店者の顔合わせも行なっています。

2024年度は門脇がキッズボランティアの講師として招かれ、9月から12月までこどもたちの「やりたい」をかたちにしていくサポートを行いました。9月の顔合わせで、アート・インクルージョンの活動を紹介したり、センター探検をしたり、毛糸を投げる体験をしたりした後、どんなことをしたいか出しあった結果、「クリスマスツリーハウス」と「お化け屋敷」に決まり、2チームに分かれて制作。12月8日の「雑貨市」当日はそれぞれの企画を行いつつ、マルシェの手伝いも行いました。

「雑貨市」をただの販売の場にするのではなく、長い助走期間を設けて小中学生のボランティアの場、地元企業と出店者が出会う場にしていく手法は非常に勉強になりました。



▲クリスマスツリーハウスを作るたがさぼキッズたち

③一般社団法人子どもアドボカシーセンターみやぎとの連携事業

子どもたちの権利擁護についての啓発や制度化を進める団体が宮城県にも誕生し、厚生労働省の予算で、同省管轄下の児童養護施設の子どもたち向けのリーフレット「子どもアドボ

ケイトって？」と高学年および大人向けのリーフレット「子どもアドボカシーって？」の制作を依頼され、2024年7月に完成。最初の1000部がなくなり、さらに2024年度内に1000部を増刷しました。

これらのリーフレットをもとに、「とみやっこプレーパーク」に集う子どもたちとムービー動画を制作しています。

また、このリーフレットをもとにした展示を「びすた〜り榴ヶ岡」で2025年3月から一ヶ月間、開催しました。



▲子ども向けリーフレット「子どもアドボカイト」表紙

④ふとうこうカフェinせんだいみやぎ・ふふふるーむ、宮城東華会との連携

仙台市でフリースクールを運営する「ふとうこうカフェinせんだいみやぎ・ふふふるーむ」に門脇が2024年3月、はじめて見学に訪れ、その後、10月まで継続的に訪問、滞在し、子どもたちと遊びました。

10月で拠点を移転しなくてはならなくなり、「ふうどばんく東北AGAIN」が、更生保護施設を営む「宮城東華会」から借り受け、アート・インクルージョンが倉庫として使用していた施設を共同で使うことになりました。アート・インクルージョンで外構や内装の一部を修理していたものを、さらにふうどばんく東北AGAINの予算で手を加え、活動できる状態にまでなりました。ふふふるーむでは月曜・木曜の週2回、フリースクールの場をもっているほか、宮城東華会の収穫祭に呼ばれるなど良好な関係を築きつつあります。

今後はアート・インクルージョンもその輪に入り、新たな展開を模索していきたいと考えています。

⑤一般社団法人りとりーととの連携

石巻市で子ども・女性支援を行う「一般社団法人りとりーと」が、2024年6月に渡波にある代表兼子佳恵さんの使っていない実家を活用し、拠点「みんなの家」を開設。9月からは毎月1回、門脇がそこへやって来るこどもやご家族とアート活動をしたり、インドネシアなど世界の料理をいっしょに作って食べたりする日を行いました。

また、石巻周辺のおもしろいことをしている人を集めたワークショップのショーケースのような交流の場「ギフトコミュニティ」を2024年3月から年1回ペースでスタート。2025年3月にも石巻駅前の「ささえあいセンター」で行われ、材料だけ用意してなんでもOKのワークショップを開催。ボランティアで参加していた男の子が水産高校に通っていることをきっかけに、乗れる船をみんなで作りました。



▲「みんなの家」のふすまに絵を描く子ども（左）とギフトコミュニティでの船作りWS

⑥NPO法人地球対話ラボとの連携

「クラスが荒れている」との話から、2022～24年まで気仙沼の小学校で行なった「気仙沼アート小」は、学校の中に学校ではない場を作るというもので、現在整備が進んでいる「学びの多様化」と今にして思えば重なる取り組みだったと言えます。

その後、気仙沼の取り組みを知った登米の小中一貫校から同様の取り組みを行なってほしいとの依頼を受け、2023年に始まったのが「豊里アート小中学校」です。2024年度は11月から門脇が月に2回ペースで通い、主に別室登校の小中学生とアート活動を行いました。また、2025年3月に塩竈市でビルドフルーガスが運営するアート拠点「本多工房」を会場に、9日間の展覧会とワークショップを開催しました。

「学校」という、それを運営する先生方も疑問を感じながらもどうすることもできないという摩訶不思議な制度に意を唱え、立ち向かう子どもたちは、いわば時代の先頭に立って時代を切り開いてくれている存在です。それは障害がある人と言われている人たちが、社会の不備を

教えてくれているのと全く同じ構図です。子どもたちの取り組みにどうこたえることができるのか、アートに何ができるのかを不断に問われている思いで参加しています。



▲本多工房での展示とワークショップスペース

(3)外国につながる人との表現活動

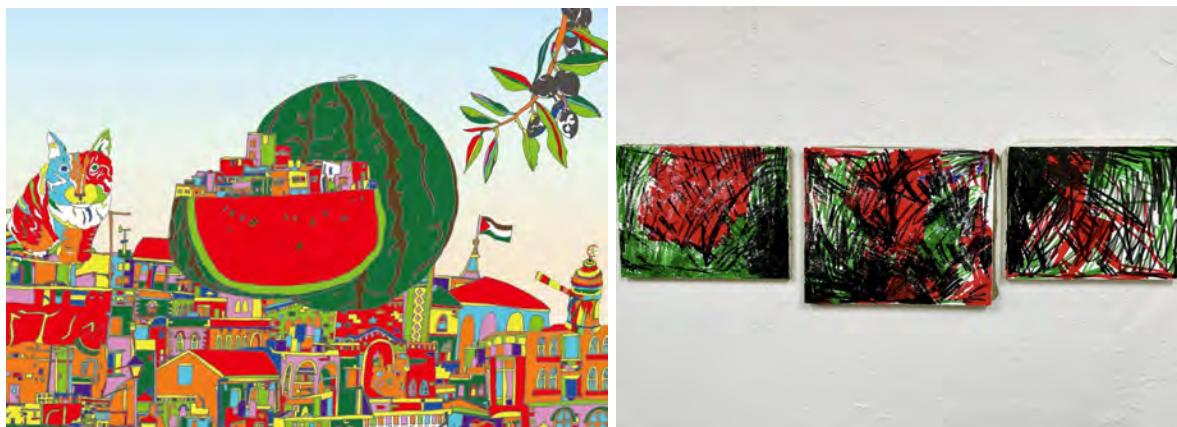
①パレスチナ・オリーブを通したパレスチナを知り、伝える場

1948年のイスラエル建国以来、植民地支配がいまだつづくイスラエル・パレスチナで、アラブとユダヤの女性がともに働く場を作り出しているNGO「ガリラヤのシンディアナ」からオリーブオイルほかを輸入し、その活動を支えつづけている仙台の団体「パレスチナ・オリーブ」。2022年に門脇が同団体のサポートを受けて「ガリラヤのシンディアナ」を訪問。撮影した映像をもとにドキュメンタリー「パレスチナレポート」を制作するなどした経緯から、同団体のフェアトレードのオリーブオイルの委託販売をアート・インクルージョンでは2022年から行なっています。

同様にパレスチナから木工製品などをフェアトレードで輸入している兵庫の団体「架け箸」代表の高橋智慧さんが仙台を訪れることになり、パレスチナを知る機会を作れないかと「パレスチナオリーブ」代表皆川万葉さんから打診を受け、9月13日、アートインクルージョンを会場に「パレスチナ・ナイト」と題した高橋さんによるトークと門脇のドキュメンタリー「パレスチナレポート」のダイジェスト版上映会を開催しました。

アート・インクルージョンではこれに合わせて妄想エンジン全開娘、コウセイ、かつん、たかピー各氏が描き下ろし作品を制作。会場に展示しました。

門脇はコロナで参加できませんでしたが、トークには約40名が参加。非常に貴重な場になりました。



▲妄想エンジン全開娘によるパレスチナ西岸の町「ナブルス」を描いた絵（左）と、かつっくんによるパレスチナカラーによるドゥローイング

②マレーシア人ハムザさんとの交流

塩竈市在住で福島とマレーシアとの交流事業を展開している奥山典子さんが、2023年に引き続き、マレーシアの社会活動家ハムザ氏を日本へ招聘。2023年もアート・インクルージョンで1日を過ごし、その取り組みを見学したり、自分の取り組みを紹介してもらったりしましたが、今回も12月20日、アート・インクルージョンに滞在し、表現者たちの取り組みを見学したり、音楽で交流したりしました。

(4)性についての表現活動

性についての表現活動は2024年度は特には行いませんでした。

(5)アートに興味のない人との表現活動

アート・インクルージョンの取り組みにおいては、すべての人を排除することなく、アートの知識やスキル、興味の有無に関わらず、参加でき、楽しめる取り組みを行なっています。2024年度もこの考え方をベースに活動を行いました。

3. アートによる交流・協働事業「つながる事業」

(1)Aiを拠点とした交流・協働事業

①Aiオンラインライブ&トーク

コロナにより、アート・インクルージョンの発信・交流拠点Ai GALLERY・Ai STUDIOの通常運営が難しくなる中、それでも表現したい、発信したいというスタッフからの強い要望により、2020年6月から月1回ペースで試行錯誤を重ね、2024年度までに52回を数えました。

最初は少数だった出演者もじょじょに増え、それにとまってコンテンツも歌やダンス、トーク、オンライン展覧会、新たな祭りの開催から、制作風景やライブペイント、マルシェやワークショップ会場といったオフラインとの中継、国内外からの映像レポートなど、実に多様な表現からなる企画へと変貌を遂げ、2021年度からは「家族で話そう!」と題し、スタッフのご家族を招いてのトークや、ご家族によるライブ出演、芸術工科大学学生によるショーや週末のオープンスタジオに参加している演奏家、劇団員の出演、「ほっぷの森フェスティバル」との連携配信など、多様な広がりを見せていきました。

2024年度からは、これまで週末に行なっていた配信日を平日に移して実施。アート・インクルージョン・ファクトリーの日常の活動とリンクすることで、これまで参加しづらかった、あるいはあまり関心のなかったスタッフが参加する場が生まれるとともに、スタッフ以外の人々が配信を機に活動中のアート・インクルージョン・ファクトリーを訪れる契機にもなりました。

<Aiオンラインライブ&トーク開催実績>

配信日	「タイトル」 フィーチャリングアーティスト	アーカイブアドレス リアル個展の開催有無	5/26現在の 再生数
2024/4/17	Vol.43 「コウセイ展」 コウセイ	https://youtube.com/live/3LcXIMZY51Y あり	<u>232</u>
2024/5/22	Vol.44 「yuka* 7th Anniversary」 yuka*	https://youtube.com/live/tKZ4ghDf-LU あり	<u>475</u>
2024/6/24	Vol.45 「King K個展 レイディース」 King.K	https://youtube.com/live/_Px_shZhGds あり	<u>166</u>
2024/7/17	Vol.46 「Saiko展」 Saiko	https://youtube.com/live/LkL5gtN601I あり	<u>353</u>

2024/8/21	Vol.47 「たなばたリターンズ」 なし	https://youtube.com/live/hDD4jtotUxA なし	<u>336</u>
2024/9/25	Vol.48 「かわいいみさこ展」 みさこ	https://youtube.com/live/-N7iCir_DH0 あり	<u>275</u>
2024/10/5	Vol.49 「Ai2024本祭」 なし	https://youtube.com/live/iQ6dIAcIEcE なし	<u>401</u>
2024/11/20	Vol.50 「祝！50回記念！！」 なし	https://youtube.com/live/AIOCNAMSIFl なし	<u>128</u>
2025/1/29	Vol.51 「妄想エンジン全開トーク」 妄想エンジン全開娘	https://youtube.com/live/5HgBkjphXw あり	<u>172</u>
2025/2/19	Vol.52 「失語症のラーメン日記」 佐々木学	https://youtube.com/live/BjtLmrqnlxQ あり	<u>288</u>
2025/3/26	Vol.53 「台車をおして」 KAMUI	https://youtube.com/live/S1Vr7UC9yOQ あり	<u>110</u>

②Ai GALLERYでの展示企画

2017年12月の一番町移転を機に、Aiの表現者を中心に、誰でも使える発表および交流の拠点として設けられたギャラリースペース「Ai GALLERY」。2018年3月には最初の企画展として、インドネシアとの交流展である「アチェ＝ジャパン・コミュニティアート・プロジェクト2017 報告展」を企画。その後、みちか個展「あしたもがんばれます。」（2019年7月）やKing K個展「Welcome to the Passion Room」（2019年11月）などAiの表現者による展示のほか、「成田真梨菜^④小野寺純一 FantasticWorld展」（2019年5月）、「開発好明とアート・インクルージョンの表現者」（2020年1月）など、第一線で活動中の美術家とのコラボレーション展などを企画してきました。

2020年春からは新型コロナの蔓延にともない、ギャラリーも一般公開を中止せざるを得ない状況になりましたが、2023年春からは一般公開を再開。コロナ中に始まった「Aiオンラインライブ&トーク」と連携するかたちで、Aiの表現者たちひとりひとりにフォーカスした展示企画を行なって来ました。2024年からは特定非営利活動法人ほっぷの森による「ほっぷの森フェスティバル」と連携した展示企画も開始しました。

2024年度はコウセイ氏、yuka*氏、King.K氏、Saiko氏、みさこ氏、KAMUI氏の6名の表現者の展示企画を行うとともに、ほっぷ卒業生佐々木学氏による「失語症のラーメン日記」を展示しました。

会期を長めに一ヶ月程度とり、それぞれがイメージする展示方法（「一面にばーっとやりたい」など）をもとに、本人や他のスタッフ、ご家族とともに設営。Aiオンラインライブ&トークで、作品についての話を聞いたり、ご家族などに聞いたその背景やほかのスタッフからの証言を紹介し、多面的に作品と作者を理解する仕掛けも用意しました。

<Ai GALLERYでの展覧会開催実績>

企画名	会 期
「コウセイ展」	2024/4/17～5/20
「yuka* 7th Anniversary」	5/22～6/4
King.K「レイディース」展	6/5～7/5
Saiko展	7/17～9/6
みさこ展	9/23～10/31
みんなの好きなもの展	11/6～2025/1/31
ほっぶの森フェスティバル「失語症のラーメン日記」	2/9-3/19
「KAMUI展」	3/26～4/30



▲「コウセイ展」



▲「yuka* 7th Anniversary」（壁面のコラージュはY.S.作）



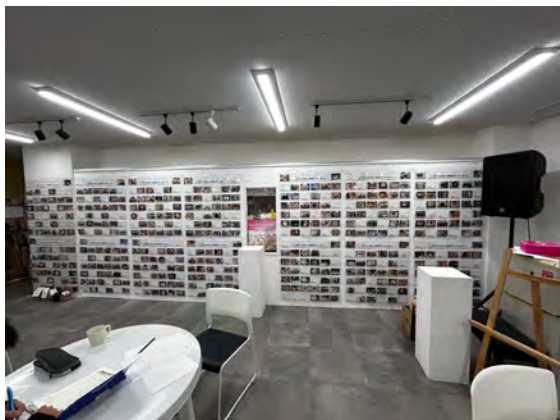
▲King.K 「レイディース」展



▲Saiko展



▲みさこ展



▲失語症のラーメン日記



▲KAMUI展

③Aiオープンスタジオ

使っていない週末のアート・インクルージョンの施設を活用し、Aiスタッフだけでなく、あらゆる人にも開放して、「何かをしてもいいし、しなくてもいい」という姿勢をベースにしながら、その場でしか起きえないクリエイティビティを引き起こす仙台におけるオルタナティブなアートの場をつくりたいと始めてまる5年となりました。

アート・インクルージョンの活動に興味を持って見学したいと訪れた人、休みで行くあてがない人、毎月来てゆっくりしていく常連の人、楽器をやりたいが自宅では音の問題で難しい人、音楽を作ってYouTubeにアップしたいが楽器もPCも苦手という人、児童養護施設を卒業したまに遊びに来る人など、こどもから大人までいろいろな人が参加。2024年度は月2回程度開催し、毎回数人程度でゆったりとした時間を過ごしました。

別々の支援学校似通っていた4人の知的障害を持つ若者たちが、卒業後に出会っていっしょに行動するようになったという仲良しグループ「ミラクルST」が、2ヶ月に一度くらい集まり、いっしょに絵を描いたり、おしゃべりしたりする場として利用するようになりました。また、「DATEコレ」のウォーキングレッスン会場として活用されたほか、ドレミ音楽サークルの日をオープンスタジオと同じ日にすることで、新たな交流を生み出したりしました。

＜Aiオープンスタジオ開催日数・利用者数＞ドレミ音楽サークル含む

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開催日数	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2	22
利用者数	2	約50	約20	約20	10	9	約30	9	約30	約20	9	約30	約250

(2)地域との交流・協働事業

①一番町での交流・協働事業

❶「Aiどんどこ市2024」

福祉サービス事業所の工賃アップや相互交流を目指し、2012年に錦町公園で始まったのが「Aiどんどこ市」です。2013～17年は仙台放送祭りと共催して勾当台公園で実施し、一番町へ移転した2018年からは、コロナで休止した2020年、サンモール一番町で開催した2021年をのぞき、事業所の前のアーケードぶらんど～む一番町で、マルシェを中心に、ステージやアートワークショップを行なってきました。

2024年度は、福祉事業所や手作り作家、地元企業など30店舗がマルシェに出店。ボッチャ体験やざつ紙工作、復興だるまの絵付け体験なども行われました。

ステージには、山田祥子さんやアートインクルージョンの表現者、ドレミ音楽サークル、ほっぷの卒業生などが出演。エイブルアートジャパン「みんなで作るよ広場の人形劇！」による「さまよいパレード」や、タガレンジャー、第501軍団との写真撮影も行われました。

アートワークショップは、ふうどばんく東北AGAINが運営する「とみやっこプレーパーク」と連携し、富谷市で行なった蔵を作るアートワークショップ「こどもぐら」でできた蔵を一番町へ移設。来場者とともにブラッシュアップしていきました。その後、この蔵は「仙台クラシックフェスティバル」の太白区文化センター会場で展示されました。



②お花見マルシェ

開催日時：2025年3月15日 11:00-15:00

開催場所：ぶらんどーむ一番町

開催内容：福祉事業所を中心としたマルシェ・公開制作・作品展示・アートWS

【マルシェ】福祉事業所 13店舗、一般 4店舗

【パフォーマンス】501部隊（スターウォーズ）、あにばる

【アートワークショップ】好きなお団子アンケート、花びら型の画用紙にお絵かき

【昔遊びワークショップ】割りばし鉄砲づくり

【展示】A i 作品展示・公開制作、妄想エンジン全開娘によるライブペイント

・スタッフそれぞれがきちんと自分の持ち場の仕事を楽しくやり遂げることができた。

特にKing似顔絵は過去最大人数14名を描く事ができた。妄想エンジン全開娘のライブペイントは初めての試みだったが、足を止め見入るお客様がいた。

・あにばる・スターウォーズの皆様が賑やかに盛り上げてくれていた。谷さんのマジックコーナーも盛況でまぜこぜなイベントの雰囲気を作ってくれていた。

・放課後デイの子供たちがお買い物体験でたかぴー商店に集まってしまい、対応にとまどってしまった。

・一番町でできるマルシェという事で「出店者の皆様から参加出来てよかった、街中での出店する経験は貴重だった」という声があった。



▲お花見マルシェのようす

②長町でのアート・プロジェクト

①アート・インクルージョン2024

2010年の開始から数えて15回目の開催となりました。2020～21年はコロナのために商店とのコラボレーションは休止。長町駅前広場での「Ai本祭」はマルシェのみを実施し、これと一番町の施設内からのオンライン配信とを組み合わせたハイブリッドで実施しました。2022年度より、長町駅前広場での「Ai本祭」もステージやワークショップを復活させ、商店街とのコラボレーションも再開してきました。

2024年度は10月の一ヶ月間、長町の7会場およびネット上での展示企画を実施。10月4～6日は仙台クラシックフェスティバルとの連携企画として楽楽楽ホールホワイエで6企画の展示を、10月5日には「Ai本祭」として長町駅前広場でステージ、マルシェ、アートワークショップを行いました。

会場	アーティスト	内容
食堂びーわん	ミッキー	店主からのレクエストをもとに、食堂び〜わんを思わせる文字（「炒」「麺」「食」など12点）をミッキー書体で描き、ラミネートしてガラス面に展示
びすた〜りフードマーケット	まい	パステルなどを用いた平面作品3点を展示
cafe JHO JHO	Madofuwa	「プロセカ」やオリジナルキャラクターを中心にした平面作品7点を展示。
ファッションウェアたむら	トトコほか	店舗脇の町の掲示板に、アートインクルージョンメンバーから出てきた名セリフを、お寺の前などに貼ってある教訓風に制作。 「今日　しゃぶしゃぶに　したいの」 「ダンゴムシLOVE」 などを4週に渡り週替わりで展示
赤井沢	Saiko、妄想エンジン全開娘、King.K、Y.S.、KASUMI、諒太、加藤育央、KAMUI、稲葉篤志、しゅんすけ	長町や赤井沢をテーマにした絵を中心に、10名の表現者による平面をつなぎあわせ、店頭絵巻物を作って展示
菓子工房セブレ	海魚爬Ton	サメのケーキや龍のケーキなど、空想ケーキの平面作品4点を展示
楽楽楽ホールホワイエ（仙台クラシックフェスティバル）	Ai×とみやっこプレーパーク	「たびするこどもぐら」 富谷市でのとみやっこプレーパーク、一番町でのどこどこ市で作った、入れるくらを展示
	King.K	長町のスケッチ28点を展示
	みちか	「にじいろのさかな」 かつて長町にあり、コラボレートした魚屋「佐藤文雄商店」の店頭での多数のいりとりどりの魚が虹のように飛ぶ姿を表現したインスタレーションを再現展示。

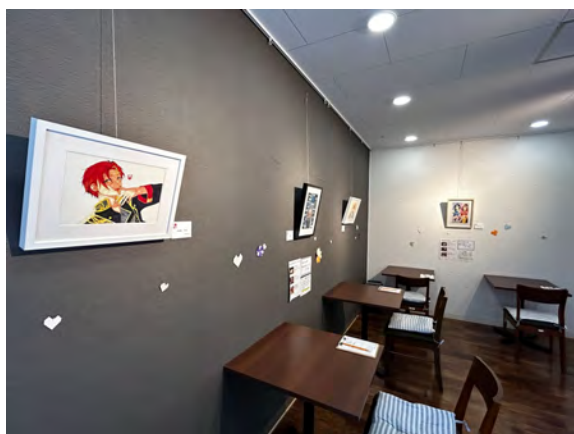
	アイドルインクルージョン	「豊年まんじゅう」「ハトヤで夢を買おう」「韓流ショッピングマダンへGO!」 かつて長町にあった各店とのさまざまなコラボレート企画のうちに制作された3本の映像を紹介。惜しくも閉店してしまった長町のお店や店主の人柄、生き様は表現の中で生きていくことを確認
	たかピー商店	「出張ハトヤ たかピー商店」 かつて長町フラワー通りにあった駄菓子屋ハトヤのレガシーを受けつぎ、活動をつづけるたかピー商店の取り組みを写真やテキストで紹介
	さいたくん	音楽をテーマにした平面1点を展示。ケーキにさした口ウソクが音符という明るくキャッチーな作品は後に「楽楽楽文化祭2024」のフライヤーのメインイメージに採用
YouTube	EIKIN	「EIKIN TV」 EIKIN名義で松音くんが始めたYouTubeチャンネルで長町レポートを数本制作、公開。
	yuka*	「仙台のローカルアイドルyuka*の長町レポート」 仙台のローカルアイドルを自認するyuka*が、長町の老舗や施設、ショッピングモール、広瀬川などをめぐり、体当たりのレポートを敢行。 前年度からの継続企画で、前年度に撮影していたものの公開できていなかったものも含め、合計7本を公開した。長町の老舗「ファッションウェアたむら」では店の起こりや現在の業態への転換の歴史など長町の歴史にも光を当てた
	長町電車クラブ（笹YUU、松音くん、カムイ）	「長町電車スポット2024」 高架化が進み、電車の姿をなかなか見ることができない長町エリアで、電車が楽しめるスポットを探すという企画。前年度からの継続企画で、新たにメンバーに新人カムイさんが加入。IKEAの駐車場からの撮影など、将来は貴重な映像資料になりそうな映像を撮影した
長町駅前広場 (Ai本祭)	門脇篤	アートワークショップ Fujisaki Dayで実施予定だった「もりのほこぶね」を長町駅前広場で制作。多くの来場者と入れるはこぶねでクリエイティブな遊びを展開した。
	Aiファクトリー	ステージ
	たかピー商店	出張駄菓子屋
	コウセイ	昔あそび



▲食堂び〜わん



▲びすた〜りフードマーケット



▲cafe Jho Jho



▲文具ステージ赤井沢



▲菓子工房セレブレ



▲ファッションウェアたむら



▲仙台クラシックフェスティバル（太白区文化センター楽楽楽ホールホワイエ）



▲Ai本祭のステージ（左）とアートワークショップ



▲コウセイさんによる射的（左）とKing.Kさんによる似顔絵



◀YouTube「長町電車スポット2024」

②楽楽楽文化祭2024

仙台市太白区文化センターから「鑑賞型の事業はすでにやっているの、そうではない体験型の文化事業をやりたい」「全館を使っての企画を考えてほしい」との依頼を受け、2018年から「まちをつくろう」「ピタゴラをつくろう」などさまざまなテーマや手法を切り口としたアートワークショップを中心に、なるべく全館を使っての企画運営と広報媒体のデザインを行なってきました。その後、ステージにも出演するようになり、マルシェや映像祭も始まりました。さらには2021年からは巡回展として仙台市内の他の文化センター3箇所でも報告展示を行なってきました。

2024年度のアートワークショップは、「みんなのやりたいをかたちにするWS やりたいことおしえて!」と題して、太白区文化センターの協力のもと、地域の児童館から「やりたいこと」を募集。「かべにらくがきしたい」「うたいたい」「新聞紙をぶちまけたい」「少しかわいいお化けがいるおばけやしきを作りたい」などたくさんの「やりたいこと」が集まりました。これをもとに、想定できる材料を準備。集まった「やりたいこと」を貼り出し、来場者のクリエイティビティと「誤読」により、予想できないアートの方が生まれました。

巡回展では2023年度に制作したプラダントツリーの部品とアート・インクルージョンの表現者たちの作品展示を宮城野区文化センター、広瀬文化センターに展示しました（若林区文化センターは改修工事中）。

楽楽楽文化祭のステージ作りでは毎年Aiファクトリーとしてメンバーでジャンルを問わずどうすることがしたいか、何をしたいかという所から話し合いを重ねました。目指すのはその人がその人でいられる表現活動であり、上手とか下手とか型にはまらない自由なステージです。話し合いの中から今年は『誰か×誰か』というような得意なことを合わせたユニットのようなものができないかという話になり、市川洋一×高倉、KASUMI×yuka、一平×加藤育央の3組のナンバーが生まれました。また、即興パフォーマンス・ノイズでは、練習時に持つ楽器を変えたり、再構築したり、ダンサーが加わったり、発表の機会が増えるにつれてバージョンアップされていきました。



▲楽楽楽文化祭巡回展（宮城野区文化センター）



▲「みんなのやりたいをかたちにするWS やりたいことおしえて！」



▲アート・インクルージョン・ファクトリーのステージ



▲楽楽楽ホールホワイエでのマルシェ（左）と地下二階での楽楽楽映像祭2024

(3)他団体・地元企業・行政との協働事業

①NPO法人ほっぷの森との連携

「びすた〜り」では長町にあったころより展示場所やステージ発表の場を提供してもらっており、2021年夏からは虹のさかなプロダクション及川久美子氏の企画で開始した「Monthlyコンサート」と合わせるかたちで壁面展示を行なっています。長らくコロナで閉じていたTFU cafeteria Oliveが再開し、2024年4月からは「Monthlyコンサート」の会場がcafeteria Oliveに移ると、コンサートとのコラボレート展示を行うだけでなく、出展者をコンサートに招待してもらい、コンサート中に展示の紹介をしてもらうようになりました。出展者の多くはご家族が付き添って参加しており、ご家族がスタッフの活躍を目の当たりにする場にもなりました。このほか、長町のびすた〜りフードマーケット、café Jho Jhoでも常設展示の場を提供してもらっています。

2021年からはほっぷの森代表理事の菊田俊彦氏が当法人の理事に就任。一方で当法人の門脇代表理事がほっぷの森理事に就任し、2023年度から始まった「ほっぷの森カレッジ」では副学長を務め、毎月2回、「表現のプログラム」を担当しています。

2023年からは渡辺祥子学長による「Sunday月いちカレッジ」がスタート。貴重な講演を映像で残し、発信していく役割を大塚さんを中心にアート・インクルージョンが担っています。制作物の一覧は以下です。

2024年から始まった「ほっぷの森フェスティバル」にはアート・インクルージョンスタッフが参加したり、Ai GALLERYが展示会場のひとつになったりするなど、継続的にさまざまな連携事業を実施しています。

2024年度もほっぷの森の各事業所で以下の展示企画を行い、「ほっぷの森フェスティバル2025」では展示会場のひとつとなるとともに、オープニングイベントにはステージや販売で参加しました。

びすた〜り榴ヶ岡での展示企画

出展者名	会 期
Madofuwa	4/10～5/26
稲葉篤志	5/28～7/17
Saiko	7/18～10/8
諒太	10/9～12/2
クリスマス展（グループ展）	12/3～1/17
ミッキー「家紋展」	1/18～2/3
ほっぷの森フェスティバル展	2/4～3/20
子どもアドボカシーセンターみやぎリーフレット展	3/21～5/6

TFU cafeteria Oliveでの展示企画

出展者名	会 期
妄想エンジン全開娘	4/2～5/7
KASUMI	5/17～6/14
しゅんすけ	6/15～7/3
DAIKI	7/4～9/14
かつつん	9/21～10/23
みさこ	10/23～12/5
諒太	12/4～1/14
一平	1/15～3/16
ほっぷの森フェスティバル2025	2/6～3/10
たかピー	3/11～4/30

cafe Jho Jhoでの展示企画

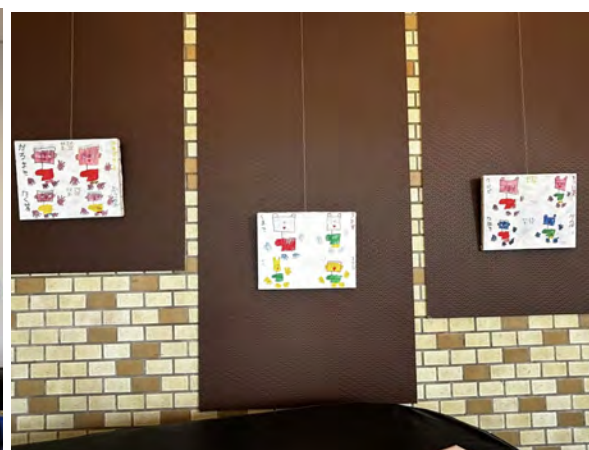
出展者名	会 期
コウセイ	5/20～9/30
Madofuwa	10/1～1/28
ほっぷの森フェスティバル2025	1/29～3/2
Saiko	3/3～

びすた〜りフードマーケットでの展示企画

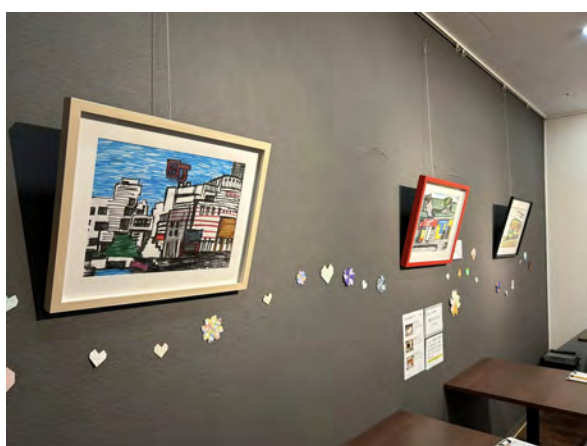
出展者名	会 期
コウセイ	5/20～9/30
まい	10/1～1/28
ほっぷの森フェスティバル2025	1/29～



▲cafeteria Oliveでのたかपीさんの展示（左）と一平さんの展示



▲びすた〜り榴ヶ岡での諒太さんの展示（左）と稲葉篤志さんの展示



▲cafe Jho JhoでのMadofuwaさんの展示（左）とびすた〜りフードマーケットでのコウセイさんの展示

Sunday月いちカレッジ記録映像一覧（2024年度は第13～24回を制作）

回	講師	タイトル	YouTube公開アドレス
第1回	渡辺祥子	ほっぶの森カレッジとロゴセラピー ～本当の自由って？	
第2回	高倉正樹	小さな声に聴き入る ～ジャーナリズムに何ができるのか	
第3回	遠藤実	高次脳機能障害 ～あなたも予備軍です～	
第4回	戸島貴代志	てつがくしてみる ～立ち止まって考えてみよう	https://youtu.be/pUtyWPd1pZQ
第5回	虹乃美稀子	育児は育自 ～「暮らし」の中で、子どもを育てる	https://youtu.be/qNgv4elu7k8
第6回	大越桂	みんないっしょで、みんないい ～こころをみれば花が咲く	
第7回	呉地正行	雁はやバイ！ ～雁に学び、豊かに生きる	https://youtu.be/6sq5MAh06XY
第8回	原田勝行	当事者・家族の声に耳を傾けよう ～高次脳機能障害を本当に理解するために必要なこと	
第9回	勝田亮	ちょっと気になる身近な法律問題～「まさか」は突然やってくる。その前に・・・	
第10回	鹿野英生	認知症ぶっちゃけ話 ～物忘れの事はいっぺん忘れましょう	https://youtu.be/SNua20Vd5Rs
第11回	市川洋一	ゆっくりの力 ～すべての経験には意味がある	https://youtu.be/coQCmt7vdAk
第12回	菊地里帆子	被災地から世界へ ～ペンを武器に泡沫の希望を綴る	
第13回	渡辺祥子	言葉の力 ～ほっぶの森とロゴセラピー	

第14回	加茂光孝	学びに向かい続ける力 ～幼児教育と学びの多様化学校	
第15回	佐々木俊 栄	節目を転機にしながら ～周りの人たちに感謝し進んで いく	https://youtu.be/MonEIsXcS-E
第16回	戸島貴代 志	てつがくしてみる？2 ～外から捉える・内から捉える	https://youtu.be/6viSVTX_rRY
第17回	深野せつ 子	「ショウガイシャ」の存在意義 ～ケアするつもりがケアされた 人生	https://youtu.be/71oUmuHwPLg
第18回	立神粧子	それでも幸せを求めて ～生きていて良かったと思える ように	
第19回	嶺岸善彦	突然言葉を失い、苦闘 ～失語症発症から13年が過ぎて	https://youtu.be/Td9iA47z4uQ
第20回	皆川万葉	ともに生きる未来をつくる ～暮らしや仕事を通してつなが る、社会を変えていく	
第21回	富樫花奈	広げようフードバンクと助け合 いの輪 ～食の支援を通して繋がる人と 未来	https://youtu.be/MAKU-1VEqPM
第22回	千葉明日 香	生活を支える在宅医療 ～通院が困難な方の暮らしの場 に医療を届ける	https://youtu.be/6dtkje15mv8
第23回	笙YUU with 高橋盛	運命を引き寄せる出会いの力 ～障害を才能に変えて	https://youtu.be/EQIf05FOyAs
第24回	佐藤正美	思い出を引き出す写真のチカラ ～過去の記録と記憶を後世に伝 えるアーカイブの役割	
第25回	渡辺祥子	言葉の力、生きる力 ～物語の中にあるロゴセラピー	
第26回	佐々木学	ラーメン日記と失語症 ～最高のリハビリ&楽しみ～	

②一般社団法人MMIX Labとの連携

アート・インクルージョン理事で宮城教育大学教授の村上タカシ氏が代表を務め、門脇が代表代行を務める一般社団法人MMIX Labとは新宿スペースゼロでの展示や開発好明氏など美術家を招いてのワークショップや展示など、長年にわたり連携事業を行なってきました。

2024年度は「アート・インクルージョン2024」や「楽楽楽文化祭2024」に宮城教育大学大学院生がボランティアスタッフとして参画したり、独自の企画を展開したりしました。

③NPO法人ふうどばんく東北AGAINとの連携事業

①フードドライブの回収とウェブサイトの運営

藤崎デパート、仙台市市民活動サポートセンター、イオン仙台店（2025年2月に閉店）のフードドライブの回収をアートインクルージョンで毎週行ない、AGAINへと受け渡しました。また、緊急食料支援が必要な人をAGAINにつないだり、フードバンクの取り組みを伝えることなどを行ないました。

また、ふうどばんく東北AGAINの公式サイトをアート・インクルージョンが更新しています。

②とみやっこプレーパーク

2023年度から毎週金曜日の午後、富谷市でAGAINが主催して始まった「とみやっこプレーパーク」にアート・インクルージョンのパートナーやスタッフが参加し、他団体やボランティアのみなさん、ご家族などとともに、プレーパークの準備や運営、片付け、企画、フライヤーの制作などを行いました。

以下、7月以後の記録です。

7月	7月5日プレーパーク@成田西公園（子ども30～40人くらい、保護者5～10人弱、スタッフ全体で6人+16時くらいから高校生6,7人） 日差しも強く、タープを設置。外遊び(野球、ボール)を中心に、水エリア、山エリア、お絵かきエリアが展開される。
	7月12日プレーパークミーティング
	7月19日プレーパーク@成田西公園（子どもざっくり50人くらい、保護者5人程度、スタッフ3人+出入りあり2人+16時くらいから高校生4,5人） とても蒸し暑く、飲み物（スポーツドリンクやお茶・水）があっという間になくなる。明日から夏休みということもあり学校が早く終わり、14時過ぎるとどんどん公園に集合する。芝生→お菓子タイム→山で遊ぶ→水遊びなど、団体でみんなで動く（友達に誘われて初めて来た子など何人か）グループが多かった。 保護者の中にお父様が二人来ていたのが印象的で、その他に市役所の近くから車で来たという支援学級の皆様がそれぞれ滞在する。
	7/24、ふうどばんく東北AGAINの夏祭り、10-12時、富谷市成田のNワンドーム。500人ほどが参加。 高校生やサッカークラブなどによる射的やゲームとともに、たかピー商店とプレーパークを実施。プレーパークでは「世界七夕」として、笹に願い事を日本

	語と世界のいろんな言葉で書くという場を作った。サッカークラブの子たちが運営。積み木遊びも。たかピー商店はめんこづくりや駄菓子販売など 7月26日プレーパーク@成田小学校（児童クラブと協力開催、子ども 児童クラブ40人くらい? +プレーパーク26人、スタッフ4人+高校生5人、児童クラブの先生方の見守り6人くらい） 児童クラブと共同にすることで、成田小学校の校庭と体育館で開催。 夏休みということもあり、児童クラブの子どもたちは楽しみにしていた様子。今回は受付でプレーパーク側の人数を把握。最後にかき氷を食べて帰宅する、など流れや使用できる場所の詳細を打ち合わせ（主に冨樫さんと高倉さん）しての開催でした。
8月	8月2日-3日 お泊りプレーパーク@西成田コミュニティーセンター（子ども15人、親7人、（詳細：5家族と一人参加6人くらい）、スタッフ全体で8人くらい+学生3人） 西成田コミュニティーセンターでの開催。企画盛沢山で各々自由に遊びました。 8月23日プレーパークミーティング 8月30日プレーパーク@成田公民館（子ども 30人くらい、スタッフ 3人） カードゲームを持参する人や、お絵かきコーナー、ひたすらけん玉やお皿を回したり、的あてゲームが人気でいろいろな人が出入りして展開されました。
9月	9月6日プレーパーク@成田西公園（子ども 3,40人くらい、スタッフ 4人+後半から学生6人くらい） 蒸し暑い曇り空で比較的遊びやすい気候、子どもも出入りがありながら沢山集まりました。 9月13日プレーパーク@しんまち公園（子ども 10人くらい+サッカーチーム20人くらい、スタッフ 4人） しんまち公園は初開催。とみやど開催時から来てくれていたメンバーがちらほら、色々遊ぶ。芝生エリアの半分は後半にサッカーチームが使うとのことで、早くからサッカーチームのメンバーも徐々に集まり、一緒になって遊ぶ。 9月20日プレーパークミーティングDAY 9月27日プレーパーク@成田西公園（子ども20人～30人くらい、スタッフ5人くらい + 最後の方に高校生が3人くらい合流） 初めて山へ入りに行く子や、インスタで見ていたけど今回やっとこれましたとお子様が小さいママさんがいたり、遊びやすい天気でしたが、テントの下でのお絵描きコーナーも人気でした。
10月	10月4日プレーパーク@成田公民館和室（子ども20人くらい、スタッフ4人 + 最後の方に高校生が5人くらい合流） ハロウィンに向けて工作企画がちょうど良いかなと思い、多めに展開してみましたが、だいたいいつも通りのプレーパークになりました。子どもたちの遊び方や人数の流れで少し手狭に感じる時間がありましたが、顔見知りも増えてきた印象がありました。 10月6日プレーパーク@熊野神社「街道まつり」とみやどをメイン会場にしんまち地区で行われる街道まつり。あがいんが熊野神社の中の企画を担当しており、その一つでプレーパークを展開。おふるまいの時間や午前～お昼過ぎにかけては会場にあふれるくらいに人がたくさんになったが、プレーパークは未就

	学児や低学年の子がのんびり過ごす。 10月11日プレーパーク@しんまち公園（子ども30人くらい、スタッフ5人） 永遠ループするくじ引き屋が登場する。ボールで遊ぶ人や、ピアノやギターをする人、ブルーシートの上で携帯を見せ合いっこしながらお話しして過ごす人や、どんぐりをひたすら集めたりして過ごす。 10月18日プレーパーク@成田西公園（子ども20人くらい、スタッフ4人くらい + 最後の方に高校生が数名合流） 曇り予想でしたが、霧雨からの本降りになってしまい、雨の中でのプレーパークでした。いつもお母さんの近くにいる子が離れて穴を掘ったり、山にはいった組が別ルートを開拓したり、雨の中でしたが思ったよりも帰る人が少ない印象でした。 10月24日、プレーパーク（あがいん）と成田小学童保育連携による「ハロウィーンゴミ拾い」58人のこどもが2班にわかれ、地域の公園を清掃。プレーパークは付き添い。学童に戻り、豚汁を振る舞い、ハロウィーンのお菓子をプレゼント。
11月	11月1日プレーパーク@西沢児童園・町下会館(子ども3,40人くらい、スタッフ3人) しんまち公園から徒歩数分の公園での開催。町下会館を解放し、外遊びか中遊びか選べるような形でまんべんなく人の出入りがありました。プレーパークを良く知っているメンバーからはじめて来た人、知らなかったけど面白そうだったから合流した人もいて、最終的に人がいっぱい集まりました。 11月8日プレーパーク@成田西公園（子ども40人くらい、スタッフ4人） 日が暮れるのが早くなってきたので30分早めて開催。撤収の頃にはすっかり暗くなってきました。プレーパーク通信を書いてくれる女の子が出勤場所を作ったり、前回から出はじめたかわいい穴掘りクラブが継続されたり、新しい道具を物色したり、時間いっぱい遊びました。 11月15日プレーパーク@成田公民館大ホール（子ども30人くらい、スタッフ3人） 久しぶりの大ホールでの開催。お絵描きエリアから、走り回って遊ぶ子までさまざまでした。初めて来た親子や、ご家族で来た方などもいて、和やかでした。 11月29日プレーパーク@成田公民館大ホール（子ども20人くらい、スタッフ5人） 高校生がテスト期間で早帰りとのことで何人か来てくれました。ボールをひたすら投げ合ったり、卓球をしたり、ボードゲームが人気でした。
12月	12月6日プレーパーク@N1ドーム（子ども20人くらい、スタッフ4人 + あがいんでの研修で訪問団体20人くらい） 小雨の為、急遽N1ドームに変更での開催。サッカーやお絵描きコーナーで盛り上がりました。とても寒かったのか親子が少なく、小学生がメインでした。 12月13日プレーパーク@西沢児童園・町下会館(子ども30人くらい、スタッフ4人) 口コミが広がったようで新しい子がいっぱい来てくれました。知っている子同士で遊ぶ子やそこからメンバーが出入りして遊びが変化していったり、いろんな時間が生まれました。

	12月20日プレーパーク@成田公民館大ホール（子ども30人くらい、スタッフ4人 +最後の方に高校生） 年内最後のプレーパークでは、年始に予定している「プレーパークの風景展」をやろうと興味のある子たちに声を掛けていくつか作品ができました。ひたすらシールを貼ったり、ボールを蹴ったり、卓球をしたり、好きな時間を過ごしました。最近は片付けを手伝ってくれる人が増えています。
1月	1月17日プレーパーク@総合運動公園（子ども4人、スタッフ4人） 富谷市総合運動公園のレクリエーション広場で開催。いい感じに雪が残っており、遊びがいがありました。子どもは少なめで4人でした。 1月24日プレーパーク@町下会館(子ども20人くらい、スタッフ5人) 小学3年生が積極的に集まった様子でした。後半はカラオケの大合唱になりました。小さいお子さん+ママさんも3組くらい、のんびり過ごしました。 1月31日プレーパーク@成田公民館大ホール（子ども30人くらい、スタッフ4人 +最後の方に高校生が合流） ボールを投げあったり、引っ張ったり、何かを作ったり、様々な展開がありました。「初めて来ました」「来るのは2回目くらいです」「インスタ見てきました」という声も聞きました。
2月	2月7日プレーパーク@町下会館(子ども30人くらい、スタッフ5人) 雪で遊ぶ人、射的で撃ち合う人、卓球を3対3くらいでやる人、テーブルでまったりする人、それぞれ好きに遊びました。今日はキッチンにボランティアさんが入って下さり、温かいラーメンがふるまわれました。 2月14日プレーパーク@西成田コミュニティーセンター（子ども10人くらい、スタッフ5人） 徒歩で来る人は少ない場所ですが、顔なじみの人たちが集合し、走り回って過ごしました。 2月28日プレーパーク@成田公民館大ホール（子ども30人くらい、スタッフ4人+高校生） 高校が午前終わりということで沢山の高校生が来てくれました。民生委員の氏家さんが顔を出して下さり「こういう場所もあるのねー」とのんびりされたり、兄弟や家族同士で来たような新しい顔ぶれもあり、だんだん広がっているのを感じる会でした。
3月	3/7 町下会館・西沢児童遊園（子ども40人くらい、スタッフ4人） 口コミで人が増え、いつもの人から新しい人も増え、ボールを投げ合ったり、卓球を複数人でもはやルールが消えていたり、それぞれ遊んでいました。 3/14 成田西公園（子ども15人くらい、スタッフ3人） 強風でタイヤなど飛ばないものをメインに少な目に配置する。悪天候の為、人数は少なかったが、来る人は来て過ごしました。 3/21 スタッフミーティング@DIYスタジオ 3/28 成田公民館大ホール（子ども40人くらい、スタッフ3人+高校生） だんだん人が増えて、親の人数も増えてきている。春休みとのこともあり、到着時にはすでに何人か居て準備から一緒に行く。

③みんなのマルシェ

仙台市泉区長命ヶ丘にある複合施設「BRANCH仙台」を会場に、コロナから毎年行ってきたふうどばんく東北AGAINの連携団体が一堂に会し、その活動を伝える発信と交流の場。2024年度は10月20日に開催され、アート・インクルージョンはグッズ販売と「四角い地球を丸くしたい」と題した、参加者が世界の飢餓率とフードロスを可視化に知らずに参加しているアートワークショップで参画しました。

<アートワークショップ企画背景>

右の地図は、一見するととてもきれいな地図に見えますが、その国やエリアで飢餓状態にある人の割合を、深刻な順に赤からオレンジ、黄色、緑、青へと色分けした地図であり、その意味がわかったとたん、見え方が一変します。世界では8億人以上、10人に1人が飢餓状態にあり、地図からは、その人たちのSOSが聞こえて来るようです。

一方で、世界の食料廃棄量は年間約13億トンで、人の消費のために生産された食料のおおよそ3分の1を廃棄しています。日本では、まだ食べられるのに廃棄される食品「食品ロス」は523万トン。これは、世界中で飢餓に苦しむ人々に向けた世界の食料支援量(2021年で年間約440万トン)の1.2倍に相当します。

「みんなのマルシェ2024」では、これら世界の飢餓と食品ロスをテーマにしたアートワークショップを行います。

(株)リコーからご提供いただく16個の大型リユースダンボールを使い、中央にぽっかりと空間が空いた約2メートル角の立方体を組み立てます。

そのまわりを陸地とおおまかな国や地域がマッピングされたプラスチックダンボールのシートでおおいます。「どこでも（でもない）ドア」があり、ところどころには「世界の窓」が開いています。

ワークショップスペースには、プラダンを切り抜いた、約80個の4色のジグソーパズルのピースのようなものが置いてあります。それは飢餓率が5%以上の国や地域を、飢餓率の状態によって4色（赤、オレンジ、黄色、青）に色分けしたもので、国や地域の名前、飢餓率が記されています。

来場者は好きなピース（国や地域）を選び、それを好きにデコったり、メッセージを書いたりして、「四角い地球」の、その国や地域がある場所へはめこんでいきます。

また、持ち寄った支援物資を、二階の柵から渡したロープをつたう「輸送機」に乗せて四角い地球に届けたり、小川に渡した「輸送船」に乗せて届けたりします。



▲四角い地球（左）と集合写真

④こどもアート食堂、みやぎこども食堂ネットワーク

前年度に作った「こどもアート食堂」をもとに、AGAINがむすびえから受託した、こども食堂とアートワークショップを組み合わせるモデル事業に参画。11月23日にクリスマスツリーハウスとクリスマスリースを作るアートワークショップを行いました。

また、AGAINが事務局を務める「みやぎこども食堂ネットワーク」から宮城県内のこども食堂を紹介する冊子の増補版の制作を受託し、制作しました。

④藤崎百貨店との連携事業

八木山動物園のネーミングライツを取得した地元百貨店藤崎が、動物園との関わりをもとに開催している交流事業「FUJISAKI DAY」。2022年には藤崎本館一番町口に八木山動物園で暮らす日本最高齢のアフリカゾウ「メアリー」の等身大のモザイクを来場者と作った経緯があり、2024年度もアートワークショップを企画してほしいとの依頼がありました。

2024年度は八木山動物公園に暮らす117種の生き物や自分が好きなものを作って藤崎前に現れた「はこぶね」に乗せて杜のみやこのみらいへとこぎだそうというアート・ワークショップ「もりのはこぶね」を企画、準備を進めていましたが、9月14日・15日の開催日直前に企画者の門脇がコロナに感染し、「はこぶね」部分を省略し、来場者とさまざまな動物を作って一番町口のガラス面に貼り出すというワークショップへと変更。さながら一番町動物園といった様相を呈した会場は大いに盛り上がりました。

作れなかったはこぶねの制作は、長町駅前広場での「アート・インクルージョン2024 Ai本祭」でのアートワークショップで行い、大きなはこぶねが完成しました。



▲藤崎百貨店一番町口が動物園に！

⑤株式会社ICHICOとの連携事業

「宮城県障害者差別のない共生社会推進業務」を受託した仙台の広告会社（株）ICHICOより依頼を受けて、仙台市太白区長町にある住宅展示場緑と風のガーデンで11月2日と3日、アートワークショップ「みんなのアートハウス」を企画運営しました。

天候にも恵まれず、来場者は少数にとどまりましたが、「楽楽楽文化祭をいつも楽しみにしています」という親子が長時間にわたり滞在したほか、ICHICOの担当者にアートによるインクルーシブ社会の実現について深く体験してもらえました。

<コンセプト>

とりたてて「この人は障がい者です」のようなアナウンスはせず、ごく自然に場を共有していきます。それはこの社会の中で、「障がい者」と呼ばれる人がごく自然に存在し、いっしょに生活している場の再現であり、直接的・間接的にアートを通じて人が関わり合うことで、たがいを理解できる、したいというアート・インクルージョンの取り組みの実践でもあります。



▲入れるアートハウス（左）と住宅展示場レセプションセンターでのみんなの制作の場

⑥パリ・パラリンピックでの連携事業

仙台市より、仙台市の姉妹都市光州広域市にある団体「障害者と五大大陸の友人たち」から、パラリンピック開催に合わせ、パリのOECD本部で五大大陸からアーティストや関係者を招聘しての「障がい者芸術文化祭（IDACO）連帯フォーラム」とアート展「ARTPARA」を開催したいとの申し出があるとの情報を得、アート・インクルージョンからかつんさんの作品を提案したところ、ぜひ出展してほしいとのことで、展示の運びとなりました。

作品解説



かきつん「かさなる青」
キャンバスにインク（ペン）、F20号、2023

本作は、青色のペンを用いて、画面上に彼が運ぶペン先の軌跡とその時間とを刻み込んでいく、かきつんの代表的な作風が読み取れる作品です。

いったい何が描かれているのかは私たちにはわかりません。そもそも何かを描こうとしているのかもわかりません。そこから私は彼が、いわゆる「描く」ということで「私たち」が無意識のうちに刷り込み、刷り込まれてきたさまざまな既存の価値観をあぶりだす役割を、意識的にか無意識的にかはわからないにせよ、果たしていると考えています。そうした問いを突きつけつつ、美的にも訴えかけるシンプルで力強い画面は、多くのファンを魅了しています。



かきつん「つむぐ赤」
キャンバスにインク（ペン）、アクリル、F20号、2023

青を好んで使う一方、気分に応じてなのか、私たちの反応を楽しんでいるのか、緑、オレンジ、ピンク、茶、黒といった色にも手をのびずかきつん。時には一色を塗り終えた後にさらに別の色で塗り重ねをします。青の上にピンク、黄緑の上に緑など。本作はそうした描法に属するかきつん作のひとつで、密度濃く塗り込んだ黒の上に、細い赤のペンで糸をつむぐように塗ったものです。

今回、応募作として青と赤を選んだのは、パラリンピック開催国フランスの国旗トリコロールを意識してのことです。

青、白、赤は、自由、平等、博愛を表すと言います。青はまさにかきつんの作品の自由さを、赤はかきつんの、誰にでも独特のユーモアをもって（言語以外の方法で）表すかきつんのあふれる博愛精神を、そしてここには白は、「障害者」という名前で差別的な立場に置かれる人々にとってはまだ存在しない色ということで、選定いたしました。

一般社団法人アート・インクルージョン

▲かきつん作品の提案資料から

⑥「交換留学」事業

2023年度からわらしべ舎中山工房、多夢多夢舎羽黒台工房・西多賀工房、仙台市太白区文化センターと互いの事業所で1日を過ごす「交換留学」を始めましたが、2024年度は行いませんでした。

(4)ボランティアコミュニティの創設と運営事業

年間通してさまざまな事業にボランティアのみなさまに参加していただき、ボランティアのみなさまとアート・インクルージョンとをつなぐコミュニティの場を作りたいと思いつながら、2024年度もボランティアコミュニティは創設できませんでした。

4.アートによる仕事作り事業

この事業は、福祉の現場においてスタッフの造力を活かし、表現活動を通じて「仕事」を生み出すことを目的としている。アートを通じて社会とつながる機会を創出し、制作活動を継続的な収入や自己表現の手段として定着させることを目指している。

アートによる仕事作り事業は、パートナーの佐々木桂を中心に、スタッフが制作した作品を活用したグッズ・コンテンツの開発を進めたが、内部のニーズに応える別ベクトルの商品開発が他パートナー達によって独自に展開される様になった。高橋尚子パートナーが8月に退職して以降は、マルシェ・アートプロジェクトの企画を洞口真喜子パートナーが担当し、販売会への出店を各パートナーで分担しながら売上を構築した。

ネットワーク事業「AとW」は、十分にネットワーク構築が進んだことで過去採択を受けていた助成金の獲得が叶わず、コーディネート業務を担っていた高橋パートナー退職後は、佐々木パートナーが資金調達・制作・コーディネートを一手に担った。

(1)コンテンツ開発

主要商品と成果

- グッズ：プリント額絵、手作りノート、バンダナハンカチ、布小物（バッグ・ポーチ）
- コンテンツ：オンラインライブ、フライヤーデザイン、ウェブデザイン、ワークショップ、配信業務など

バンダナハンカチ生産体制の構築

2022年度から開発が始まったバンダナハンカチは着実に絵柄を増やすと同時に売り上げも伸ばしてきた。

しかし縫い手が安定しないこと、一度にまとめて生産する必要があることから安定した生産体制が作れずにいたが、今年度縫い手とクライアントを直接繋ぐマッチングサイト「nutte」を利用すること、年間のスケジュールを立てて春夏柄、秋冬柄の2回に分けて生産する体制を作るために今年度は6月9月3月の3回に分けて生産を行った。

新柄と合わせて人気の柄を再生産するので毎回12柄を各30枚～50枚生産した。在庫を作ることができたので、次年度からは年2回生産スケジュールを安定させていく。

今年度作成したバンダナハンカチの新柄





シルクスクリーン製品の試作と販売

アートを仕事にするネットワーク環境形成事業で形成されたネットワーク体「AとW」からテキスタイルデザイナーのTEXT(大江よう) をみやぎセルブのコンサルタント助成金を活用して商品作りの時間に月一度招致した。

シルクスクリーンワークショップを行いながら、Aiファクトリーらしいクリエイションとはどのようなものか、様々なスタッフの絵や文字を自前の製版機で印刷して試作を重ねた。

寄付でいただく様々な生地を同じ様に活用できるパターン、Aiファクトリーのアトリエの日常からふわりと浮かび上がってくる様な自然なテキスタイルの追求、製版を気軽に行える枠の試作も実施した。

スタッフの中にはシルクスクリーンの時間になるとエプロンを着けて待機するひと、シルクの時間を目掛けて通所するスタッフもおり、ゆっくりと活動の中で定番化して行っている。目標にしている五千円以上の高価格帯のバッグなど、布製品は完成に至ってはおらず、次年度も試作を続けていく。

メインの商品開発には時間がかかるので、既製品にシンプルな絵柄を印刷して制作する布小物の開発も同時に行った。

ニットバッグとワッフルポーチ





今年度作成したミニノート（佐々木）



今年度作成したミニノート（パートナー）



菊池桃佳パートナーによるsuzuriを用いた開発

(2)製品部門のブランド立ち上げ

スタッフの作品をもとにした商品開発は、佐々木桂パートナーによって当初より販路拡大を見据えて長期的に取り組まれてきた。

一方関係者の思いやニーズに応える内向きの取り組みも各パートナーによって独自に展開されてきた。それぞれが異なる意図と価値を持ちながら、現在に至るまで発展している。

ハンカチを始めとした外向きの商品の売り上げが上がっていく中で卸売の形で商品やアートを広げていける可能性が見えてきたことから製品部門でブランドを立ち上げたいという意見を佐々木パートナーより提案するも、内向き商品開発の処遇・外向き商品開発との両立が課題となった。

内向き・外向きの商品開発とは

- **外向き**：佐々木パートナー主導。アート志向の商品開発、ターゲットはアートに関心のある顧客層。

商品としての展開には少し工夫が必要な表現であっても、その人ならではの表現や制作の背景に魅力があることが少なくない。そうした個々の持ち味に寄り添いながら、作品の力を損なわずにかたちにする方法を模索し、試行錯誤を重ねての商品開発を行っている。日々同じ場所で暮らしながらリアルタイムで制作される作品を目にし、コミュニケーションを取ることで、アーティストが最近ハマっている主題を絵柄を用いたり、楽しく描けそうなテーマで描き下ろしを依頼したり、近年増加している一般企業と障害のあるアーティストとの協働によって作られるプロダクトにはない、日頃の関係性があるからこそできる開発が強みであると言える。

そして、障害のあるアーティストの表現が「福祉」の文脈を超えて社会と接続されるための手段として重要な役割を果たしている。

商品化によって作品が誰かの日常や価値観に影響を与える可能性を持つことで、その表現が福祉事業所・アトリエという閉じた場から解放される。作者本人の意図や感性を尊重しながら、社会との接点として形を整えることは、単なる販売ではなく、まだ見ぬ誰かとの対話や変化を起こす行為として位置づけている。

一方で、クオリティコントロールの観点から全てのスタッフの作品を平等に商品化することは難しく、画風や熟練度（技術力の問題ではない）、出力に適した作品が生まれるのを待ちたいが故に商品化を見送る判断がされることもある。

- **内向き**：他のパートナーが主導。パートナー、スタッフや保護者のニーズを重視し、1個単位で手作りできるアイテムやsuzuriなど在庫を持たずにオンライン上で販売ができるシステムを用いて開発している。

この取り組みは、単に“商品を作る”ことにとどまらず、「あなたの表現は素晴らしい」「ちゃんと見ているよ」というメッセージを届ける福祉サービスとしての意味合いを持っている。

商品を通して、必要とされている実感や、日々の活動がかたちになったという実感を得ることで、本人や保護者にとっての喜びや誇らしさへとつながり、また、それを提供しているパートナーにとっても“与えている満足感”が自己効力感として返ってくる関係性が生まれている。

内向きの商品開発は、販売目的というよりも、本人や保護者、パートナーが「うちの子（自分）の表現が商品になった」という納得感や喜びを得ることを目的にしている。法人が大切にしている「まずパートナーが楽しく働けること」や、「だれしもがスタッフ

とともに自己表現を行える」といった価値観とも結びついており、商品開発そのものが日々の支援実践の延長線上にある営みとなっている。

責任を感じる方向の違い、安心代償としての商品化

支援職をメインで行うパートナーたちは“生活者としての彼ら”に責任を持っており、日々の活動を通じて健康的かつ安心して過ごせることを重視している。

そのため商品開発においても、ご家族の声や本人の満足が優先される構造になっており、それは“責任の方向”の違いによって生まれている価値観である。

支援職のパートナーにとっての商品化は、“表現”や“仕事”というより“節目”であり、学校や習い事での「発表会」や「作品展」のように、本人の努力や成長を可視化する装置として機能している。

そのため「表現が他者に届くこと」「工賃の向上」よりも、「ちゃんとやってきたね」が届くことの方が大切であり、商品化はアートという形の見えない永遠に続く運動を続けるための安心材料という側面がある。

だからこそ、商品のクオリティや客観的評価よりも、「関係者の欲目」が判断基準となることが多く、あえて外部の顧客を想定しないことで、その人らしさや安心感を保ったまま形にできる構造になっている。

ただし、この関係性は一過性であることも多く、「喜ばせること」や「感謝されること」自体が目的化してしまえば、表現本来の力や可能性が見えなくなってしまうリスクもはらんでいる。

内向き商品開発は本人や保護者が「自分の表現がかたちになった」と実感できるような、“認められること”を主眼にした商品開発として続けている。

一方、外向きの商品開発は、社会との対話や表現の可能性を提示する手段として展開されており、“誰かの承認を得ること”とは異なる目的を持っている。

本来、就労継続支援B型事業所としての在り方を考えれば、商品開発は外部との接点を持ち、社会的価値を創出する方向に重きを置くことが筋である。

にもかかわらず、内向きの商品開発が強く求められる背景には、日々の対話や関係性の中で「あなたの表現を見ています」と伝えることが難しいという現実がある。

支援を中心に働くパートナーは30人超のスタッフがそれぞれ別々の活動をする姿を見守りながら、事務作業やスタッフだけでは難しい商品作りの工程を担っている。

忙しく流れる月日の中で、支援職はベストを尽くしているが、スタッフと深く向き合い、丁寧に承認のプロセスを担うことが難しい場面や、特性やこだわりによっては伝えても伝えても届かないやりきれなさを感じることも実際に多くある。そんな時に“商品”が一種の代弁者や代償として用いられている側面がある。

それは時に安心をもたらす手段ではあるが、根本的な課題を置き去りにする危うさも併せ持っている。

目的が全く異なるこの2つの商品開発プロセスを一つのブランドにまとめるブランディングは困難とされ、ブランディングによる統合は断念した。

内向き・外向きの商品開発は、異なる目的や文脈を持ちながら並行して展開されてきたが、両者が同じ販売の場に並ぶ際の影響については慎重な検討が必要である。

内向きの商品が出る場に外向きの商品が並ぶことは、選択肢の多様さやブランド価値の補強につながることもある一方で、外向きの商品が目指す販路に展開する場合、内向きの商品が混在すると、商品の基準やブランドイメージの一貫性が損なわれる可能性がある。

Aiでは「多様な表現を尊重すること」を大切にしてきたが、それは“なんでもアリ”という意味ではなく、それぞれの文脈に応じた整理や責任を伴う“柔軟さ”として捉える必要がある。

外向きの商品においては、表現の発信力や社会との接続の可能性が求められる場面が多く、それに応じた一定の一貫性や意図の明確さは不可欠である。「らしさ」を理由にクオリティのばらつきを許容してしまうと、本来伝えたい表現の力までもが“福祉製品”として埋もれてしまうリスクがある。

商品の制作背景や目的が異なることを意識しながら、それぞれの文脈を丁寧に扱っていく必要がある。

今後の展開

外向き商品開発は次年度、デザイン事業部の佐々木パートナーがディレクターを務める別ブランドとして名称をつけて区別できるように取り組む方針が決まり、福祉事業部のパートナー達による内向き商品開発は都度担当するパートナー達の創造性に委ね、販売時には混ぜたり分けたりを試行錯誤を継続していくことが決まった。

外向き商品開発のブランド化

外向き商品開発については、次年度より佐々木パートナーをディレクターとする新たなブランド立ち上げを構想しており、名称の検討や方向性の整理を進めている段階である。

内向き・外向きの違いが生み出す価値や役割を明確に区別し、それぞれに適した発信方法確立することで、商品開発全体の整合性を高めていくことが期待されている。

(3)販路開拓

主催: Aiどんどこ市 / Ai本祭 / お花見マルシェ / ネットショップ (Aiマーケット、Aiマーケット in SUZURI) / 協力店

その他

- 定期開催イベント：河原町マルシェ（月1回出店） / 福の市 / 尼寺販売会 / スロウ日和 / 立町たちのみ
- イベント：仙台七夕 / コマフェス / Fujisakiday / せんくら / 見本市 /
- 行政による福祉製品販売会：ふれらら / 県庁販売会
- カネイリミュージアムショップ6 (AとW)
- 下北沢ケアリングマーケット (AとW)
- 仙台PARCO2 (AとW)

2024年度の販売会出店一覧

日程	販売会名	場所
4月6日	larugoスカイランタンイベント（販売）	新利府販売会
4月14日	河原町マルシェ	河原町商店街
4月29日	larugoってゴー！	杉村淳美術館
4月21日	福の市	勾当台公園
5月3日	とみや（たかぴー商店）	とみやど
5月12日	河原町マルシェ	河原町商店街
5月25日	Aiどんどこ市2023	一番町
6月5日	ふれララ	ララガーデン
6月27日	ふれあい県庁販売会	宮城県庁
6月30日	夏越の祓マルシェ	川崎神明社
	楽天モバイルパーク販売	楽天モバイルパーク
7月14日	河原町マルシェ	河原町商店街
7月21日	暮らしの市 夏	杉村淳美術館
7月24日	あがいん夏祭りN-1ドーム（午前中）	N-1ドーム
7月28日	ヴォスクオーレ仙台HG販売	仙台市体育館
8月3日	福の市	多夢多夢舎中山工房
2024/08/06~08	七夕まつりわたあめ販売	一番町
8月11日	白萩國分尼寺マルシェ	白萩國分尼寺
8月17日	東北大夏セミ	東北大学
8月23日	定禅寺通り 酒のかわしまイベント	定禅寺通り
9月1日	スロウ日和	多賀城市サポセン
2024/09/04~08	AとW POPUP STORE	仙台PARCO 2
9月8日	河原町マルシェ	河原町商店街
9月12日	県庁ふれあい販売会	宮城県庁
9月13日	パレスチナナイトin仙台	Ai
2024/09/14~15	Fujisaki day	藤崎前・八木山動物園
9/15	フラットシアターフェスティバル （パレード出演/販売）	宮城野区文化センター
9月16日	アピール大行動	メディアテーク
9/23	あまでら境内販売	国分尼寺
9/28	立町たちのみ	定禅寺通り
9/29	ウェルフェア仙台	市民広場
2024/10/04~06	せんくら（10/3搬入、10/6搬出）	太白区文化センター
10月5日	本祭2024	長町駅前広場
10月12日	コマフェス	小松島支援学校
2024/10/15~17	ナイスハートバザール	仙台駅構内

2024/10/18～11/8	AとW POPUP STORE	カネイリミュージアムショップ6
10月20日	みんなのマルシェ	ランチ仙台
2024/11/02～03	宮城県「障害者差別のない共生社会推進事業」	緑と風のガーデン
11月10日	河原町マルシェ	河原町商店街
11月16日	仙台オレンジリボン&MAMACO FESTA2024	イオン泉大沢
11月16日	スロウ日和	AER
11月17日	マリンゲートマルシェ	マリンゲート塩釜
11月21日	ふれララ	ララガーデン
2024/11/23～24	ケアリングマルシェ	下北沢ポーナストラック
12月5日	県庁販売会	宮城県庁
12月8日	たがさぼ雑貨市	多賀城市市民活動サポートセンター
12月24日	地域共生社会推進会議	フォレスト仙台
1月12日	ヴォスクオーレ仙台販売・就労体験	仙台市体育館
1月17日	「妄想エンジン全開展」	ギャラリーエイト
2025/01/31～02/05	きいて、みて、して、見本市	メディアテークオープンスクエア
2月9日	ほっぷの森Fes オープニングイベント	ほっぷの森
2月23日	Nozomi paper factory OPEN Factory!	のぞみ福祉作業所
3月6日	ふれらら販売会	ララガーデン
3月8日	パフォーマンスフェスティバル	日立システムズホール
3月15日	お花見マルシェ	一番町
3月16日	冬セミ	東北大
3月19日	尼寺境内販売会	国分尼寺
3月20日	尼寺境内販売会	国分尼寺
3月22日	当事者研究交流会東北大会	東京エレクトロンホール宮城
3月23日	SAC保護者会	

バンダナハンカチとカラフルわたあめは、主要なアイテムとして売上アップに貢献した。

カラフルわたあめは、スタッフ主導の生産体制が整ったことで、富谷の夏祭り、mamacoフェス、小松島支援学校の文化祭など、子どもや家族が集まる地域イベントへの出店機会を拡大することができた。

Aiオリジナルパッケージのマヌカハニーキャンディはレモン・ベっこう・ミルクの3種類の展開となった。加えて、同じく合同会社サボコマースの商品であるオーストラリア産マヌカハニー（MGO30+・MGO100+）の販売も開始。現在は、フードマーケットで製造されている干し柿チップのディレクションも進行中である。スーパーフードや天然素材など体に優しい素材を用いた食品をAiファクトリーの商品と並べることでブランドイメージの向上を図っている。

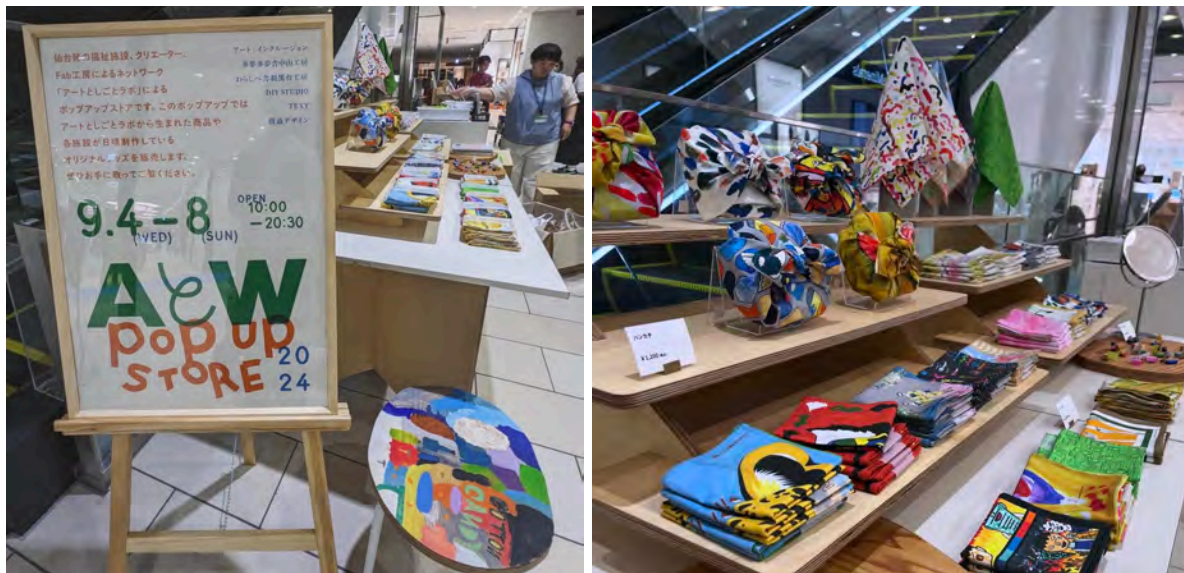
さらに今年度は、せんだいメディアテーク1階「カネイリミュージアムショップ6」でのポップアップ出店に初めて取り組み、バンダナハンカチは95枚の販売を記録した。

また、東京・下北沢で開催された「ケアリングマーケット」への出店も実現し、売上実績だけでなく、今後の販路拡大につながる多くのネットワークやフィードバックを得る機会となった。

(4)アートを仕事にするネットワーク環境形成事業（AとW）

- 自走化初年度。助成金を獲得できなかったが、仙台PARCOや暮らしの市、パフォーマンスフェスティバル等に出店。
- PARCO出店では目標25万円を上回る30万円の売上を記録し、Ai単独では116,800円（うちハンカチは94枚）売り上げた。
- 初開催となったカネイリミュージアムショップ6でのポップアップも好評で、バンダナハンカチは92枚販売。
- 11月23日、24日に行われた東京下北沢でのケアリングマーケットに参加。売り上げも良好かつ今後の販路拡大に役立つアドバイスを多く得るなど収穫の多い遠征出店だった。

POPUP SHOPの様子



七夕プロジェクト

- 仙台七夕祭にて、福祉施設4団体13人のアーティストによる14作品を用いた七夕飾りを制作。
- ディレクションは渡邊デザイン、一部制作は鳴海屋紙商事が担当。
- Aiは薬玉制作を担当し、クラウドファンディング（567,100円）により制作費の一部を調達。
- 制作にはスタッフの家族や地域の商店も関与し、活動の輪が広がった。
- 製作後はミニ七夕飾りの受注につながるなど、実践的な仕事訓練の場ともなった。
- 家族や賛助会員、近隣の商店などと繋がる貴重な機会なので、次年度以降も継続して掲示を予定している。

仙台七夕祭の様子



今後の展望・課題

AとWネットワークの今後の運営方針

- 人員削減により高橋尚子パートナーが退職。AとWのコーディネーター外注化は予算不足のため断念。
- 高橋尚子氏にコーディネーターを継続してもらうために2025年度からはAiは主催を手放し、他事業所やクリエイターと同列の一参加団体として関わる。
- 各案件の最初の受託者が窓口を担い、役割分担を行う「実行委員会形式」で運営予定。

AとWのコーディネートに当たってきたパートナー高橋尚子が法人の人員削減により退職することになったものの、AとWの活動に高橋パートナーの存在は外せず、本人からも続投したいと希望を受けてAとWのコーディネーターを外注にできるか検討したところ、予算がない事業の為不可能と結論が出た。

それを受けて2025年度からはネットワーク体AとWの主催（窓口業務を）をAiは手放し、他事業所やクリエイターたちと同じ立場で一参加団体として関わることになった。それぞれ案件を最初に受けた事業所が窓口を務める形にし、次年度1年は実行委員会形式で運営することになった。

5. パブリシティとファンドレイジング事業「つたえる事業」

(1)公式サイトやSNSを活用した活動の発信

公式サイトトップページに設置している新着情報をこまめに更新し、アート・インクルージョンの活動について広く伝えていきました。

SNSについては、これまで運営してきたFacebookページ、Instagram、YouTubeに加え、2025年3月からはTikTokの運営を始めました。

YouTubeでは10月からショート動画の投稿を始め、投稿数が増えたことともあいまって、視聴回数は前年度比で10倍以上、再生時間で約3倍、新規チャンネル登録者は約8倍となりました。いずれもリアルタイムにアート・インクルージョンの活動を伝えるメディアとしての威力を発揮しています。

EIKINさん（松音さん）、yuka*さん、石川法然さん、KAMUIさんはそれぞれのチャンネルを持ち、一定のファンを獲得しています。

各SNSのフォロワー、チャンネル登録者数の状況は以下の通りです。

SNS	2025年5月末現在	2024年5月末時点	2023年5月末時点
Facebookページ	1640人	1633人	1609人
Instagram	1797人	1263人	1021人
X	3383人	3427人	3441人
YouTube	798人	467人	426人
TikTok	428人	-	-

YouTubeの視聴回数・時間・新規チャンネル登録者数は以下の通りです。

期 間	視聴回数	再生時間	新規登録者
2024年4月～2025年3月	18.3万回	1839.2時間	+273人
2023年4月～2024年3月	1.4万回	653.3時間	+33人
2022年4月～2023年3月	1.3万回	671.8時間	+37人

YouTubeの収益化申請条件は、チャンネル登録者数500人以上、有効な公開動画の総再生時間が過去365日で3000時間以上または有効な公開ショート動画の視聴回数が300万回以上となっており、チャンネル登録者数では達成できているものの、過去365日間の総再生時間3000時間（月平均250時間以上）には達していない状況です。



▲松音くん改めEIKINさんによる「EIKIN TV」



▲仙台のローカルアイドルyuka*の「ランチレポート」



▲石川法然さんの「ご開帳チャンネル」



▲KAMUIさんが毎回台車を押すシーンだけで構成された「KAMUI STUDIO」

(2)メディア掲載実績

新聞、ラジオ、テレビへの掲載実績は以下の通りです。

①新聞

障害者ら 表現通じ交流

「アート・インクルージョン」 来月1日から仙台・長町



性別や年齢、国籍、障害の有無にかかわらず、誰もが参加できる芸術イベント「アート・インクルージョン2024」が10月1日から1カ月間、仙台市太白区長町地区で開かれる。障害者らが表現を通して社会とつながる取り組みで、今年で15回目。

5日本祭 ステージ発表やマルシェ

メインの本祭は5日午前11時から午後4時、JR長町駅西口広場公園で開催。福祉施設で働く障害者らがステージ発表するほか、小型漁船ほどの大きさの段ボールの箱舟を飾り付けたり、めんこやベーゴマで遊んだりといったワークショップを行う。

会場で開かれるマルシェには、駄菓子やおにぎり、焼き菓子、野菜、アクセサリなどを販売する18店が出店。家庭や職場で余った長期保存可能な食料品を集め、生活困窮者らに寄付するフードドライブの回収ボックスを置く。

31日までの期間中、文字や絵画といった障害者らのアート作品を地区内の商店やマルシェに出店してもらえ

などで展示。4～6日は、仙台クラシックフェスティバル会場の太白区文化センター音楽ホールで他の作品も紹介する。

イベントは一般社団法人アート・インクルージョンの主催で2010年に始まった。スタッフの洞口真喜子さん(46)は「多面からマルシェに出店してもらえ

るようになり、よりバラエティに富んだ内容になった。障害の有無などにかかわらず、誰もが一緒に楽しめる機会にしたい」と話す。連絡 72。 先はアート・インクルージョン022(797)36

市民が段ボールを使って「長町城」を作った昨年10月のイベント＝仙台市太白区のJR長町駅前（アート・インクルージョン提供）

元気くれる絵や立体

現代美術家・成田さん仙台で個展

来月7日まで



しつたタルマといった立体も魅力的だ。成田さんは発達障害があり、コミュニケーションに悩んだ時期があったが、東北生活文化太高で絵画を学び、才能を開花させた。人を描くことへの苦手意識も薄らぎ、今展示にはサクラの妖精をイメージした少女像などがある。成田さんは「さまざまな作品を制作することができた。成長した姿を見てほしい」と話す。

2月1、2日は休廊。正午〜午後7時。入場無料。ギャラリーASTON(2階)707。

仙台市青葉区の現代美術家成田真梨菜さん(31)の個展「妄想エンジン全開展2025」が、若林区卸町のギャラリーASTで開かれている。見ているだけで元気になるポップな絵画と立体計約50点を展示する。2月7日まで。

宮城県石巻市の魅力を引きつと描き込んだ絵画「Let's go to ISHINOMAKI」は、ホヤの大量死滅に心を痛め、石巻にエールを送る。同県山元町名産のイチゴをモチーフにしたキャラクターを描いた「いちごちゃん」は、はいているホッキ貝の靴下がおおやめだ。愛らしいデザインのおかげで、数多くの動物を愛



「Let's go to ISHINOMAKI」(手前左)などの作品を眺める成田さん

▲2025年1月28日 河北新報

県内の福祉事業所と社会貢献活動に取り組む団体などが出店する「お見舞マルシェ」が15日、仙台市青葉区の一歩町一番街商店街(ふらんとーむ一番町)で開かれる。障害者の自立支援に取り組み同市の一般社団法人アート・インクルージョン(AI)が主催し、昨年に続く回目。

イベントは「明るく楽しくおいしく」が合言葉。障害者への差別や偏見のない共生社会を目指す。

17団体が菓子やハンバーガー、さをり織り、多肉植物、ガラス雑貨のブースを並べる。任意団体ACT53(仙台市)は「ミニもつたいない市」と題し、古着リサイクル品を販売する。

AIは、同法人運営の福祉事業所を利用しての障害者アーティストの絵を用いたハンカチやノートを販売する。青葉区の現代美術家成田真梨菜さん(31)によるライフペインティングや、割り箸鉄砲で遊ぶワークショップも企画する。

福祉の力感じて

15日・仙台でマルシェ



「会話をしながら描くのが楽しい」と話す菊池さん(左) 昨年3月28日、仙台市青葉区の定禅寺通

「King K」として人物画を描く活動を続けている太田区は「障害者も支援者も来場者に喜んでもらおうと、丁寧な作業コーナー(300円)を担当。女性性シンデレラや歌姫、男性は格闘家の雰囲気仕上げる」といい、「パッと見た瞬間にモデルのチャームポイントを捉えるのが大事。話をしながら描くのが楽しい」と張り切る。

午前11時〜午後3時。一部のワークショップは有料。連絡先はA10222797(3672)。

17団体出店 障害者の作品など販売

▲2025年3月7日 河北新報

②テレビ



▲2025年2月4日 仙台放送

③ラジオ



▲2025年2月5日・12日 FMたいはく

(3)募金活動

赤い羽根共同募金会「みやぎチャレンジプロジェクト」では、50万円の目標額に対し、36名から105万7000円の募金が集まり、最終的には145万7000円（募金会から50万円の加算金が増加され、事務手数料10万円が差し引かれた）を得ることができました。

(4)年次報告書の作成

2023年度の報告書を作成し、支援者やボランティアの方々に郵送。これによって支援者の方々の信頼と懇意な関係を形づくる予定でしたが、2023年度の報告書は作成できませんでした。2024年度は報告書を作成したいと考えています。

(5)Ai news paperの発行

Aiファクトリーのご家族、Aiサポーターなどへアート・インクルージョンの活動を伝える広報紙として、「制作班」が毎月発行しているAi news paperを2024年度も2024年4月発行の61号から2025年3月の72号まで毎月発行、送付しました。



▲コウセイ
「グレートバリアリーフ」

Ai News Paper

Event & Program

エーアイニュースペーパー

2024年4月号/vol.61

制作・編集: Aiスタッフ&パートナー

コウセイ、S・i G・M

■うめえ～なぁ!「お花見マルシェ」が終了しました

3月のマルシェは初の試みでしたが、アーケード内は賑やかさが増して、ワークショップやマルシェにたくさんの方が参加していただき、大変ありがとうございました。



■プログラム「ダンスの時間」が始まりました



新しくプログラム(ダンス)1回目がありました。J-pop Dance Sendaiの講師をお迎えして、ストレッチや軽い運動から始まりステップや振り付けを音楽に合わせて、みんなで一緒に楽しいダンスプログラムを行いました。今後は月一回体を動かす機会が増え、楽しみです。

■「ベニーランド」様よりご寄付をいただきました



七十七銀行の「77SDGs私募債」を通して仙台の遊園地「ベニーランド」を運営している紅久株式会社・八木社長様をスタッフみんなでお迎えして、贈呈式が行われました。大変ありがとうございました。

オモテの写真:「グレートバリアリーフ」

永井博氏や山本崇一朗氏の作風に惹かれ創作活動を始めたイラストレーター。両氏に惹かれながらも「型にはまらない」オリジナルがモットーでありながらも、模写も得意とする二刀流で活動中。

■東北ダンスフェスティバル



4月6・7日二日間に渡って開催される、東北ダンスフェスティバルにアイドル活動をしているAiスタッフであるyuka*さんが出演します。

4/6(土) 14:55頃～

場所:
勾当台公園 野外音楽堂

■河原町マルシェに出店します



今年初の河原町マルシェは「はな・花・だんご市」と題して、キッチンカーやハンドメイド雑貨、ワークショップにリラクゼーションブースなど約30店舗が大集合!!スタンパラーなど、楽しい企画もあります、是非お越しください。

4/14(日)

10:00～16:00

場所:
河原町商店街通りほか



■福の市が開催されます



福祉事業所の美味しいパンや焼き菓子、お豆腐、お花、雑貨など、心ときめく商品がもりだくさん!手作りのあたたかさが広がる、素敵なマーケットです。皆さまのご来場を待っています。

4/21(日) 10:30～14:30

場所:
勾当台公園 仙台市民広場

■larugoアミューズメントマルシェに参加します



パンや焼き菓子、季節のおこわなど地域の美味しいものが大集合!お花のワークショップやメタバース、陶芸体験など大人も子供もみんなで楽しめる、アミューズメントマルシェを開催。AとWが出店します。

4/29(月・祝) 11:30～16:30

場所: 塩竈市杉村淳美術館

■オープンスタジオ 11:00～16:00

4/27(土)・5/4(土)・19(日)

■オンライン企画Vol.43

4/17(水) 10:30～15:00





yuka* 7th
anniversary
dream 2024

Ai News Paper

Event & Program

■どんどこ市2024開催します



インクルーシブなアート市

2024年 5月 25日(土)
11:00 ~ 17:00
ぶらんど〜む一番町

主催：一般社団法人アート・インクルージョン
共催：一宮町・喜望峯町・坂井町・大井町・大井町・大井町

ワークショップ

あの帝国軍や
タガレンジャーも
やってくる!?

5/25(土) 11:00~17:00

場 所：ぶらんど〜む一番町 オープンステージ

マルシェ

スタンプラリー

インクルーシブなアート市

アートを楽しみながら、福祉サービス事業所をはじめ、いろいろな参加者がマルシェやワークショップなど、日頃の取り組みを通して市民と交流する場です。

旅するこどもぐら
マイくらづくり

こどもぐら



かつて奥州街道で結ばれていた富谷宿と色黒の辻とを「くら」で結ぼう。

●ポッチャ体験

みんなで楽しくポッチャ体験をしよう!

●復興しダルマの絵付け

福島のダルマを自由に絵付け体験。
参加費=500円

●雑がみ工作

包装紙やお菓子の空箱で工作。

●スタンプラリークイズ

「ぶらんど〜む一番町」に関するクイズ!

オモテの写真：「yuka* 7th anniversary」

仙台ローカルアイドル「yuka*」が誕生して7周年。 次回のAiオンライン企画vol.44ではyuka*をフィーチャーしたパフォーマンスをお送りします。新曲のお披露目や新作のダンスなど、成長したyuka*にご期待ください。

エーアイニュースペーパー

2024年5月号/vol.62

制作・編集：Aiスタッフ&パートナー

コウセイ、S・i・G・M

■河原町マルシェに出店します



5/12(日) 10:00~16:00

福祉事業所の美味しいパンや焼き菓子、お豆腐、お花、雑貨など、心ときめく商品がもりだくさん! 手作りのあたたかさが広がる、素敵なマーケットです。皆さまのご来場を待っています。

■Sunday月いちカレッジ開催中



毎月1回、日曜日の午前10時~12時の開催です。講師の専門的なお話に加え、毎回渡辺祥子さんとのトークの時間もあり、参加者の皆さんとのやり取りが魅力です。バラエティに富んだ講師陣それぞれの立場からの新たな視点を提供。これまでとらわれていたことから心が自由になるかもしれません。新たな価値観を提供する楽しい学びと体験の場にぜひお越しください。詳細はHPをご覧ください。



■とっておきの音楽祭に向けて練習中です



【Aiスタッフの出演予定スケジュール】

●アート・インクルージョン・ファクトリー

15:55~16:25

@シンボルロード-夏の思い出像前

●笙YUU

13:10~13:40

@せんだいメディアテーク オープンスクエア

●市川洋一

13:25~13:55

@シンボルロード-オデュッセウス像前

6/2(日)
10:00~17:00
笑顔 つながる
ココロ つながる
音楽のチカラ



●さんふいっしゅ(加藤育央)

13:45~14:15 @NHK仙台放送局前

●yuka*

14:45~15:15

@シンボルロード-オデュッセウス像前



「みやぎチャレンジプロジェクト」へのご寄附・ご協力いただきありがとうございます。寄せられた寄附金で、スタッフの皆さんが汚れを気にせずにおもいきり活動に熱中出来るようにエプロンと白衣を購入しました。

■オープンスタジオ

5/4(土)・19(日)

6/1(土) 11:00~16:00



■オンライン企画Vol.44

5/22(水) 11:00~15:00

■GWのお知らせ

5/3(金)~5/6(月)までお休みとなります。



Ai News Paper

Event & Program

■野球観戦に行ってきました



今年もご招待いただき、2グループに分けて、14、15日に楽天イーグルスの試合を観に行ってきました。
球場グルメにも堪能しつつ、熱い応援を送りました。

■だんどこ市が大盛況でありありがとうございました



今年もぶらんど〜む一番町を会場に、福祉事業所中心によるマルシェや雑貨販売、ワークショップに加え、休館中のフォーラス前でパフォーマンス披露など盛りだくさんの1日でした。長町で長年愛された駄菓子屋ハトヤのおばちゃんも手伝いに来てくれました。ありがとうございました。

オモテの写真：「Ladies レイディース」：King K

近頃、第二弾となる画集を出し、のりに乗っているking Kの個展が6月中旬からAiギャラリーにて開催されます。力強いタッチの女性画の作品を中心に展示。ぜひご覧ください。

エーアイニュースペーパー

2024年6月号/vol.63

制作・編集：Aiスタッフ&パートナー
コウセイ、S・i G・M

■とっておきの音楽祭に参加しました

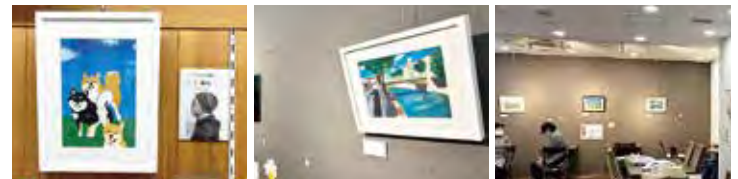


■「Aiの表現者たち」の作品が展示中

KASUMI、コウセイ、稲葉篤志の3人の作品が各店舗で展示中です。
お近くにおいでの際はぜひお立ち寄りください。



▲仙台駅東口「カフェテリアオリーブ」：KASUMI



▲長町「cafe Jho Jho」&「びすた〜りフードマーケット」：コウセイ



▲NPOプラザ1F「びすた〜り榴ヶ岡」：稲葉篤志

■オープンスタジオ

6/16(日)・7/6(日)

7/21(日) 11:00~16:00



■オンライン企画Vol.45

6/19(水) 10:00~15:00



Ai News Paper

Event & Program

■ 恐竜山に登ってきました



八木山にある約150mの通称「恐竜山」に行ってきました。暑い一日でへとへtoになりながら登りましたが、緑が気持ち良く楽しかったです。

■「ヴォスクオーレ仙台」の試合観戦 & 出店しました



運動の時間のプログララムを担当していただいているフットサルチーム「ヴォスクオーレ仙台」様よりご招待をいただき、試合観戦とAiファクトリーのアートグッズの販売もさせていただきました。

■「ふれあいフェスティバル」に出店しました。



県庁ロビーにて県内の就労支援事業所等で働く障害のある方々が心を込めて作った製品を販売するイベントに参加しました。

■「夏越の大祓神事」マルシェに参加しました



宮城県川崎町に鎮座する川崎神明社のマルシェに参加しました。Aiではたかぴー商店の出店やアートグッズの販売をしました。ハトヤのおばちゃんも応援に駆けつけてくれて大好評でした。

■ 楽天イーグルス サステナブルデーに出店しました



楽天イーグルスが野球を通じて【環境・地域・社会】を軸に社会課題解決に取り組んでいます。その一環として「サステナブルデー」に初めて参加し、球場入り口付近で出店販売しました。

オモテの写真：「海ガメ」：Saiko

Saikoの個性豊かで独創的に物事を捉え、圧倒的な筆圧で描写する作品の数々がAiギャラリーにて個展が開催されます。

エーアイニュースペーパー

2024年7月号/vol.64

制作・編集：Aiスタッフ&パートナー

コウセイ、S・i G・M

Aiで七夕飾り、出します

くす玉作り ボランティア募集中!

仙台の夏といえば、「七夕祭り」。今年はAiでも七夕飾りを出します。くす玉作りボランティア募集中です! 例年通り七十七銀行一番町支店前で販売もやります!



■ 河原町マルシェに出店します



7/14(日) 10:00~16:00

今回のテーマは「クラフト市」!

手作りクラフト・ハンドメイドなど一点もののアクセサリや雑貨など素敵なアート作品が出展します。他にも美味しいグルメやスイーツなどキッチンカー・マルシェ・ワークショップなど盛りだくさんでわくわく楽しい一日を、皆さまの到来をお待ちしています。

■「暮らしの市」に参加します

7/20(土)・21(日) 10:00~15:00



場 所: 塩竈市杉村惇美術館

<知恵と工夫で暮らしを彩る>をテーマとするクラフトマーケット。今回は、より地域の素材に注目するお店が集まったほか、美術館らしいアーティストやデザイナーたちによる出店、福祉施設がつくる野菜やプロダクトなどが見どころです。Aiは21日(日)のみの出店となります。

■ DATE NA SENDAI COLLECTION 2023

7/27(土) 11:00~17:00 場所: 定禅寺通 グリーンベルト



今回で4回目となる『ダイバーシティ』をテーマにしたファッションショー。差別がなくなり、だれもが自分らしくアイデンティティをもって生きられる世界になればいいという願いを込めて開催されます。Aiスタッフ数名もモデルとして参加します。

■ オープンスタジオ

7/6(土)・7/21(日) 11:00~16:00

■ Saiko展

Ai GALLERY 7/17(水)~9/6(金)

オンライン企画Vol.46 7/17(水)



Ai News Paper

Event & Program

■「Date na Sendai Collection 2024」が開催されました



■「七夕まつり」でわたあめ販売しました



毎年恒例となった「七夕まつり」のわたあめ販売、今年もスタッフ、パートナーと一丸となって作っては売ってと、奮闘しました。

オモテの写真：「AとW」七夕飾り

アート活動をしている仙台の福祉施設4団体のアーティストの作品を吹き流しにデザインした「七夕飾り」をアーケードに掲出しました。クラファンにご協力いただいた皆さま、大変ありがとうございます。8月10日(土)まで受付しております、引き続きよろしくお願いします。

エーアイニュースペーパー

2024年8月号/vol.65

制作・編集：Aiスタッフ&パートナー

コウセイ、S・i G・M

■南三陸 めりえ展覧会



Aiの海魚爬Tonさんが原画を担当した「化石の町南三陸町 めりえ展覧会」が開催されるにあたり、めりえ展覧会に展示する作品を募集中です。
詳しくは ➡

■東北大学サマーセミナーに出店します



8/17(土)・18(日)

場 所：東北大学 川内北キャンパス

10:00～17:00

「誰でもセンセイ、誰でもセイト」をコンセプトに「夏セミ」(東北大学サマーセミナー)と称して、学生主体・学生主導による学びの場づくりイベントが開催されます。Aiでは17日(土)のみグッズ販売で出店します。

■ほっぷの森カレッジのお知らせ



8/18(日)

場 所：ほっぷの森

10:00～12:00

毎月1回、日曜日の午前10時～12時の開催です。講師の専門的なお話に加え、毎回渡辺祥子さんとのトークの時間も、参加の皆さんとのやり取りが魅力です。8月はアート・インクルージョンの深野せつ子さんが登壇します。これまでとらわれていたことから心が自由になるかもしれません。新たな価値観を提供する楽しい学びと体験の場にぜひお越しください。

■「TFU Cafeteria Olive」と「びすた〜り榴ヶ岡」に展示中



▲Saiko



▲DAIKI

DAIKIさんの作品は「TFU Cafeteria Olive」で「びすた〜り榴ヶ岡」ではSaikoさんの作品がそれぞれ展示されています。

■オープンスタジオ

8/10(土)・8/13(火) 11:00～16:00

■オンライン企画Vol.47

8/21(水)【サマーバケーション2024】

■Saiko展

Ai GALLERY 7/17(水)～9/6(金)

■お盆休みについて

8/10(土)～15(木)の期間お休みです。



Ai News Paper

Event & Program

■スロウ日和に出店します

2024年 9月1日 日曜日
OPEN 10:00 CLOSE 15:30
多賀城市民活動
サポートセンター
多賀城駅北口から徒歩約1分
駐車場は限りがあります。

おいしいもの
かわいいもの
いかに楽しむもの
まなびになるもの
おもしろいもの
宝塚と山梨の各地から、
個性豊かなお店が並びます。

奥玉田舎のスロウ日和は、皆様喜ばれての品揃えで楽しんでください。
メンバーシップも、何らかの形で参加していただければ幸いです。

日時：9/1 (日)

10:00~15:30

場所：多賀城市文化センター

耳のきこえないつくり手たちを中心にしたフードとクラフトのスロウなマルシェが開催されます。「スロウ日和」に出店するのは、半数が耳がきこえないつくり手たちです。でも、耳がきこえないって、どういうことなんだろう？ 手話や筆談をつかったお買い物やコミュニケーションを体験してみよう！



■フラットシアターフェスティバルが開催されます



9/14 (土)・15 (日)

場所：宮城野区文化センター ほか
10:00~16:00

＜ダンス、人形劇、大道芸！＞
＜感動に会う、2日間！＞

今年は「劇場からまちへ」をテーマに、屋外でもパフォーマンスが上演されます。いつも通る道やいつも遊ぶ公園でアーティストと出会えたら、まちの景色が少し変わるかもしれません。



AとW
POP UP STORE
9.4 (水) - 8 (日)
10:00-20:30
仙台に拠点を置く障害者福祉施設と
クリエイター、Fab工房によるネットワーク
「AとW」によるポップアップショップです。
ネットワークの取り組みから生まれた商品や
日頃制作しているオリジナルグッズも
販売いたします。ぜひお手に取ってご覧ください。

■「AとW」パルコ2にて出店します

9/4 (水) - 8 (日)

10:00~20:30

<仙台パルコ2>

2階エスカレーター脇

仙台パルコ2にて「AとW」のポップアップショップを開催いたします。オリジナルアート雑貨など、お手ににとってご覧いただけます。ぜひお越しください。

■河原町マルシェに参加します



9/8 (日) 10:00~16:00

地下鉄河原町駅すぐ近くの河原町商店街で手作りクラフト・ハンドメイドなど一点もののアクセサリーや雑貨など素敵なアート作品が展示します。他にも美味しいグルメやスイーツなどキッチンカー・マルシェ・ワークショップなど盛りだくさんでわくわく楽しい一日を・・・Aiでは大好評のわたあめやアニマルアーティスト作品の実演販売を行います。皆さまのご来場をお待ちしています。

■「パレスチナ ナイト in 仙台」がAiで開催されます

パレスチナ
ナイト in 仙台
パレスチナ製品販売
トーク
上映会
9月13日 18:30~20:30 (18:00開場)
会場：アート・インクルージョン Ai GALLERY
参加費：800円 (ドリンクとお菓子付き)

9/13 (金) 18:30~20:30

場所：アート・インクルージョン

参加費：800円

(ドリンクとお菓子付き)

「素敵に国境はない」をコンセプトにパレスチナ×日本のカワイイをお届けするフェアトレードブランド「架け箸」代表高橋智恵さんを兵庫からお迎えし、トークとパレスチナ製品の販売や門脇篤監督のドキュメンタリー映画「パレスチナ・レポート」を上映します。



■Fujisaki Day フジサキの杜で楽しく学ぶ2日間

9/14 (土)・15 (日) 9:00~16:45

場所：ぶらんどーむ一番町藤崎前
八木山動物園フジサキの杜

仙台の老舗百貨店「藤崎」、八木山動物園フジサキの杜とコラボレーションしたイベントが開催されます。アート・インクルージョンはワークショップや出店など協力・参加します。



■秋フェス@ランチ仙台



9/20 (金)

場所：ランチ仙台

ステージ出演：15:00~

AiからはEIKIN、Yuka*、市川洋一の3名のアーティストがステージでパフォーマンスをします。(約30分間)ぜひお立ち寄りください。

■ウェルフェア2024仙台に参加します

9/29 (日) 10:00~15:00

場所：勾当台公園市民広場

ステージ出演：12:45~

ふれあいバザーやステージパフォーマンスなどいろんな企画が盛りだくさんの1日です。Aiでは出店とステージ出演で参加します。



■オープンスタジオ 11:00~16:00

9/21 (土)・29 (日) ※13:30~16:00

■オンライン企画Vol.48

9/25 (水) 11:00~16:00

■Ai GALLERY 「みさこ展」

9/18 (水)~25 (水) 11:00~16:00

オモテの写真：「ふわふわ-ハート ver.-」 みさこ

ひたすら「ふわふわ」を描き続けていたが、この作品はハートの形をしたたくさんのふわふわが世界中のみんなに届けと空を舞っていく印象もある。



Ai News Paper

Event & Program

エーアイニュースペーパー

2024年10月号/vol.67

制作・編集: Aiスタッフ&パートナー

コウセイ、S・i G・M

■AiMonth

「アート・インクルージョン2024」

日時:

10/1(火)~31(木)

会場: 仙台市太白区長町一帯



食堂び〜わん 「僕の書体」

どんな文字も自分の書体に消化してしまうミッキーが、仙台のじゃじゃ麺の名店の窓をキャンパスに書き下ろす文字とは? 出展: ミッキー

Cafe Jho Jho 「推しの絵」

プロセカ(プロジェクトセカイ)に魅せられた Madofuwa が、登場するキャラクターを描いた絵を長町病院一階のほっとできるカフェで展示。ランチやお茶を楽しみながらご覧ください。出展: Madofuwa

菓子工房セレブレ 「スイーツまつり」

長町の洋菓子専門店「セレブレ」のケーキから自由に着想した空想のケーキの絵を展示。出展: 海魚爬Ton



「Welcome to 長町」

近年、発展が目覚ましい長町は、古墳時代には役所が置かれ、江戸時代には宿場町として、明治以後は鉄道の町として栄えてきました。これら多様な顔をラップにします。出展: 妄想エンジン全開娘



「アイドル yuka*の長町レポート」

仙台のローカルアイドルとして活動しているyuka*が長町のおすすめスポットを紹介します。



びすた〜りフードマーケット 「マイ・マーケット」

美味しい野菜やこだわりの食材をとりそろえた町のお店屋さん「びすた〜りフードマーケット」に、やさしいタッチの絵や警句的な文章を得意とする、まいの絵を展示します。季節を感じられる野菜や食材とともに楽しみたい! 出展: まい

ファッションウェアたむら 「まちのけいじばん」

よくお寺の前などで見かける、達筆な文字で書かれた深い言葉を模して、アート・インクルージョンのメンバーが発したさりげない言葉や見逃せない言葉、興味深い言葉を週替わりで掲示します。出展: トトコ、DAIKI、みちか他

太白区文化センター 楽楽楽ホールホワイエ 「せんくらとのコラボ展示」 10/4~6

「仙台クラシックフェスティバル」の会場のひとつ楽楽楽ホールホワイエで、かつての奥州街道を富谷宿から芭蕉の辻、そして長町へと旅をする「こどもぐら」の展示や、閉店した長町の魚屋、まんじゅう屋、駄菓子屋をコラボ企画でよみがえらせる展示、長町のスケッチなどをご覧ください。出展: Ai×とみやっこプレーパーク、King.K、たかピー商店、みちか、アイドルインクルージョン、さいたくん



Instagramほか 「長町デیلیーポスト」

長町をテーマにした絵や写真、文などを10月中、毎日SNS上に投稿していきます。ぜひご覧ください!



文具ステージ赤井沢 「赤井沢長町絵巻」

長町をテーマにしたものを中心にAiメンバーの作品を展示します。※会期中、Aiのアートグッズを販売する特設ブースを設けます。出展: Aiメンバー



「EIKIN TV」

YouTuberとしてデビューしたEIKIN(元松音くん)が、長町をテーマにした番組をお送りします! 出演: EIKIN(松音くん)



「長町電車スポット2024」

高架化により、なかなか目にするこのない長町で、電車が見える・聞こえる・感じられるスポットを探し紹介していきます。出展: 由宇×かむい

わたしは仙台市長町に伝わる「橋姫伝説」の主人公・橋姫をモチーフに海魚爬Tonがつくったキャラクター「ハシヒメちゃん」です。長町は歴史あるみどころいっぱいの町。作品をめぐりながらいろいろ発見してくださいね!



皆さんのお越しをお待ちしてます。

オモテの写真: 「アート・インクルージョン 2024」
フライヤー表紙より

■Ai本祭2024開催します

日時: 10/5(土) 11:00~16:00

会場: 長町駅前広場

「アート・インクルージョン2024」のクライマックスとなるステージやお菓子・雑貨などマルシェで賑わい、「はこぶね」を作るワークショップなどからなる楽しい1日です。Aiの表現者たちによるソロステージもあります。



■「AとW」ポップアップストア

日時:

10/18(金)~11/8(金)

会場: カネイリミュージアムショップ6
(メディアテーク1F)

メディアテーク1Fにて「AとW」のポップアップストアを開きます。さまざまな商品を取り揃えております。ぜひお越しください。

■「みんなのマルシェ」が開催されます

日時:

10/20(日) 11:00~16:00

会場: ブランチ仙台



ふうどばんく東北AGAINによる「みんなのマルシェ」が開催されます。Aiではアートワークショップや仙台七夕で制作した「七夕飾り」をランチ仙台にて展示します。

■ARTPARA2024 パリ開催中!



「アートパラ2024パリ」ギャラリーがサイトで見られます。Aiからはかつんの作品が展示されています。



■オープンスタジオ

10/27(日) 11:00~16:00

■お休みのお知らせ

10/7(月)は本祭の代休になります



Ai News Paper

Event & Program

■Ai本祭が盛況に終了しました

ステージパフォーマンスやマルシェ、ワークショップの参加など、たくさんの方にご来場くださり、ありがとうございました。



■「みんなのマルシェ」に参加しました



ふーどばんく東北AGAIN主催による「みんなのマルシェinランチ仙台2024」が開催され、ワークショップとマルシェに参加しました。子供たちの元気と笑顔あふれる1日となりました。

■河原町マルシェが開催されます

日時: 11/10(日) 10:00~16:00

会場: 河原町商店街(地下鉄河原町駅下車すぐ)

河原町商店街で手作りクラフト・ハンドメイドなど一点もののアクセサリや雑貨など素敵なアート作品が出店します。Aiでは大好評のわたあめやアート作品の販売を行います。皆さまのご来場をお待ちしています。

オモテの写真:【海魚爬Ton】南三陸町歌津総合支所・化石展示室寄贈



南三陸町歌津総合支所・化石展示室より



化石の町南三陸 めりえ展覧会/応募作品より

もともと、絵を描くことが好きだった海魚爬Ton、数年前に仙台で化石の展示に魅せられて以来、南三陸町に出向き「魚竜館」跡地や「化石ミュージアム」などを見学しながら、造詣を深めていった。その後さまざまな魚竜の絵に精力的に取り組んでいたさなか、南三陸町歌津総合支所内の化石展示室に絵の寄贈や「南三陸を化石で盛り上げる会 hooks」のイベント「化石の町 南三陸 めりえ展覧会」の原画を提供し、700枚以上の応募があり、地元スーパーに展示された。今後の活動にも注目されている。



エーアイニュースペーパー

2024年11月号/vol.68

制作・編集: Aiスタッフ&パートナー

コウセイ、S・i G・M

■『AとW POPUP STORE』

11/8(金)まで カネイリミュージアムショップ6
(せんだいメディアテーク1F)

アートを仕事にするというコンセプトのもとアート活動を行う福祉事業所から生まれた『AとW』の作品の展示販売しています。お近くにおいでの際はぜひお手にとってご覧になってください。お待ちしております。

■仙台オレンジリボン&MAMACO FES



日時: 11/16(土)・17(日)

10:00~16:00

場所: イオンタウン泉大沢 1階南側特設会場

地域と企業をつなぐ!大人も子供も楽しめる!みんなが繋がる、参加型フェスタが開催されます。Aiは16日(土)のみ出店します。

■ふれあい製品販売会に出店します

日時:

11/21(木)

10:00~18:00

場所:

ララガーデン長町

Aiではララガーデン長町にて新作のハンカチやマヌカハニー入りの飴、アクセサリ、ノートなどのアートグッズを販売します。お買い物ごたら、どうぞお立ち寄りください。

■Date na sendai collection2024



日時:

11/30(土) 13:00~

場所: BRANCH仙台(まちづくりスポット仙台)

今年7月、定禅寺通りで開催される予定でしたが、雨のため急遽室内で無観客となったファッションショーを、パワーアップして新たに開催します。



■仙台市内2つのレストランにて展示中

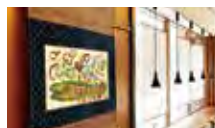
●「諒太展」

「びすた〜り榴ヶ岡」
~11/30 まで



●「みさこ展」

at Olive
「カフェテリア Olive」
~12/5 まで



■Aiギャラリー 12月中開催!!
「みんなの好きなもの展」展示

■オープンスタジオ

11/9(土)・24(日) 11:00~16:00

■オンライン企画Vol.50

11/20(水) 11:00~16:00

らららぶんかさい

文化祭

2024

たのしいこと
いっぱい1日

アートワークショップ
『やりたいことおしえて!』
開催時間 10:00~15:00

『楽楽楽多文化映像祭』
開催時間 10:10~15:30

『冬のひだまりコンサート』
開催時間 14:00~15:30 (開場 13:30)

『楽楽楽マルシェ!』
開催時間 10:00~15:30

2024年
12月22日①
10:00 スタート
太白区文化センター

仙台市太白区長町5-3-2
地下鉄南北線長町駅 西1番出口徒歩1分 月夜明駅徒歩3分
※会場駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

主 催 公益財団法人仙台ひと・まち交流財団 仙台市太白区文化センター
共 催 一般社団法人アート・インクルージョン 特定非営利活動法人ほっぷの庵
問 合 せ 仙台市太白区文化センター 022-304-2211

イラスト: さいたくん

ひと★まち
CONNECT
collection program 2024

Ai News Paper

Event & Program

■ 楽楽楽文化祭が開催されます

ワークショップやマルシェ、コンサートなど、大人から子どもまで、誰でも参加できる楽しいことがいっぱいの文化祭が開催されます。

2F 楽楽楽ホール

『冬のひだまりコンサート』 14:00～15:30

パフォーマンスあり、ダンスあり、歌あり、赤ちゃんからご年配の方までお楽しみいただけるプログラムです。

【出演】アート・インクルージョン・ファクトリー

高山広（俳優、劇作家、演出家、絵本作家）

林宏樹（Saxes, Flute, Clarinet）

池田緋紗子（フルート）

岡本優子

（宮城県気仙沼市出身のピアニスト/作曲家）

及川久美子（ピアノ）

2F ホワイエ

『楽楽楽マルシェ！』

10:00～15:30

福祉事業所のオリジナル雑貨やお菓子、アクセサリなど盛りだくさんなマルシェが出演します。ふーどばんく東北AGAINによるフードドライブやゆっくり休める休憩スペースもあります。ぜひお越しください。

地下1F 展示ホール

みんなのやりたい！をかたちにするワークショップ

『やりたいことおしえて！』 10:00～15:00

今回のアート・ワークショップは

みなさんから集まった

「こんなことしてみたい！」を

かたちにします。

あなたのやりたいこと

をおしえてください！

やりたいこと募集

下のQRコードから
送ってね



地下2F 音楽練習室 1

『楽楽楽多文化映像祭』 10:10～15:30

多様性や人と人との繋がり、交流の実現をテーマに制作された世界各国の映像作品を上映します。ぜひお楽しみください！

【上映予定ラインナップ】

10:10 「アートプロジェクトが伝える長町」アイドル・インクルージョン他（2014年～2024年、30分）

10:40 「ほっぶの森カレッジ presents 「月いちカレッジ」

第4回/戸島貴代志「てつがくしてみる？」～自由について～大塚武智監督（2023年、日本、68分）

11:50 「パレスチナ・レポート～楽楽楽多文化映像祭2024 バージョン」

門脇篤監督（2024年、パレスチナ、イスラエル、日本、84分）

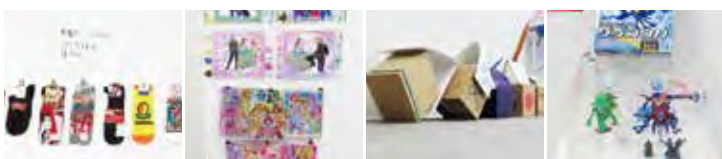
13:15 「橋姫ミュージカル」Aiファクトリー（2024年、日本、22分）

13:40 「気仙沼のインドネシア人～実習生 YouTuber編」門脇篤監督（2021年、日本、34分）

14:15 「表現者たちが伝える長町、仙台」yuka*、Ai鉄道クラブ、EIKIN（2023～24年、日本、45分）

■ 「好きなもの展」開催中

Aiスタッフがそれぞれ好きなものを持ち寄って出来た「みんなの好きなもの展」Aiギャラリーにて今年いっぱい展示します、ぜひご覧ください。



■ 「たがさぼのクリスマス雑貨市2024」

日時：12/8（日）

9:30～15:00

場所：多賀城市

市民活動サポートセンター

ひとりひとりの「違い」を受け入れ、認め合い支え合うことを意識し、大人や子ども、障がいがある人、国籍や性別に関係なく、楽しめるイベントです。雑貨や小物、焼き菓子の販売やワークショップもやってみます。



■ Xmas会

日時：12/25（水）

10:10～15:00



■ オープンスタジオ

12/1（日）・14（土） 11:00～16:00

■ 代休のお知らせ

12/23（月）は楽楽楽文化祭の代休になります。

■ 年末年始のお休み

12/28（土）～1/5（日）までお休みです。



▲2024楽楽楽文化祭の様子

Ai News Paper

Event & Program

エーアイニュースペーパー
2025年1月号/vol.70
制作・編集：Aiスタッフ&パートナー
コウセイ、S・i G・M

■ 楽楽楽文化祭を開催しました

太白区文化センターで開催された楽楽楽文化祭の様子を写真にてご紹介します。ワークショップやマルシェなど、コンサート会場に足を運んでいた皆さん、皆さんの笑顔にあふれた楽しいこといっぱいの1日となりました。



■ ダンスDEダンスに参加しました



富谷市大亀山森林公園内／亀亀館（もしもしハウス）にて開催された「ダンスDEダンス」に参加しました。yuka*のステージパフォーマンスあり、ダンス好きのみんなと一緒に踊ったり、楽しいダンスの集まりでした。

■ クリスマス会をしました



毎年恒例のクリスマス会をしました。各々がクリスマスの衣装を着て、パフォーマンスや歌の披露をしました。ケーキと飲み物のプレゼントもあり、楽しいクリスマスパーティーとなりました。

■ 赤い羽根へのご支援のほどお願いします



赤い羽根共同募金 令和6年度
「テーマ型募金みやぎチャレンジプロジェクト」
助成事業

安心して自分の表現活動を行える場所には音や汚れを気にしないでいい設備と同時に表現者たちをより深く知りたいと願う支援者のサポートが必要です。どうぞご支援、ご協力をお願いいたします。



■ 「成田真梨菜 個展」が開催されます



2025年1月17日(金)～2月7日(金) GALLERY A8T



▲「Dronko/パリンアートカップ2024」にてどろんこ賞

◀「飛鳥Ⅲ」アート公募展にて準グランプリ

Aiスタッフの妄想エンジン全開娘こと成田真梨菜さんの個展が2025年1月に卸町GALLERY A8T(ギャラリーエイト)にて開催されます。なお、「Dronko/パリンアートカップ2024」にてどろんこ賞をクルーズ客船「飛鳥Ⅲ」アート公募展にて準グランプリを受賞し、今後の活躍もますます注目されています。

■ 「ほっぷの森フェスティバル」にAiも参画



日時: 2/9(日) 10:00～15:00

場所: ほっぷの森(第三志ら梅ビル4F)

ほっぷの森ってどんなところ?

をテーマにいろんな企画が開催されます。トーク、公開プログラムやステージに展示企画など映画上映もあります。当日「Sunday月いちカレッジ」では笙YUUさんが講師として登壇します。詳しくはこちらから▶



■ オンライン企画Vol.51

1/29(水) 10:00～15:30

■ オープンスタジオ 11:00～16:00

1/18(土)・26(日)

■ 年末年始のお休み

12/28(土)～1/5(日)までお休みです。



Ai News Paper

Event & Program

エーアイニュースペーパー

2025年2月号/vol.71

制作・編集: Aiスタッフ&パートナー
コウセイ、S・i G・M

■就労体験&出店をしました



ヴォスコーレ仙台のホームゲーム最終試合でAiスタッフのメンバーが就労体験に参加しました。コートの子付けやゴミの収集などで頑張る、ギャラリーではAiグッズやわたあめの販売をいたしました。

■ギャラリー見学&卸町界隈の街歩き



1月17日から「galleryA8T」にて開催中の成田真梨菜個展『妄想エンジン全開展2025』をはじめ、[七十七銀行卸町支店]、卸町コミュニティプラザ「ほるせ」に展示中の作品を鑑賞しながら、卸町を散策しました。



■「みやぎチャレンジプロジェクト」のご支援をお願いします



赤い羽根共同募金 令和6年度
「テーマ型募金みやぎチャレンジプロジェクト」
助成事業

安心して自分の表現活動を行える場所には音や汚れを気にしないでいい設備と同時に表現者たちをより深く知りたいと願う支援者のサポートが必要です。

どうぞご支援、ご協力をお願いいたします。



オモテの写真:書き初め

新年初めのプログラムは今年の目標や好きな言葉を書き初めました。

■「きいて、みて、して、見本市。」



日時: 1/31(金)~2/5(水)

10:00~18:00

場所: せんだいメディアテーク
(1階オープンスクエア)

「障害のある人と芸術文化活動」に関する多様な個人・団体・活動を紹介するこの見本市。表現する人たちの様子を知りたいなど。たくさんのプログラムが楽しめます。

詳しくはこちら ▶



■「ほっぷの森フェスティバル」にAiも参画



日時: 2/9(日) 10:00~15:00

場所: ほっぷの森(第三志ら梅ビル4F)

ほっぷの森ってどんなところ?

をテーマにいろんな企画が開催されます。トーク、公開プログラムやステージに展示企画など映画上映もあります。当日「Sunday月いちカレッジ」では笙YUUさんが講師として登壇します。

詳しくはこちら ▶



会期中は、「ほっぷの森」のほか長町「cafe JhoJho」、「びすた〜りフードマーケット」、仙台駅東口「TFU cafeteria Olive」、「びすた〜り榴ヶ岡」、「アート・インクルージョン」市内6カ所にて展示企画が開催されます。

■「TFU cafeteria Olive」と「びすた〜り榴ヶ岡」に作品を展示中



カッパなどお気に入りのものを独自のタッチでじっくりと描いている一平。今回は珍しい抽象画に挑戦し、独特の世界観が發揮されている。

◀「TFU cafeteria Olive」/
一平



普段は思いつく漢字や文字を袋文字にして色鮮やかに描いているミッキーが家紋シリーズの作品を仕上げました。

◀「びすた〜り榴ヶ岡」/ミッキー

■オンライン企画Vol.52

2/19(水) 10:00~15:30

■オープンスタジオ

2/15(土) 11:00~16:00

お花見マルシェ

3月15日(土) 11:00～15:00
場所: ぶらんど～む一番町アーケード

楽しんでください

みんな誰でも参加できる

福祉事業所とクラフト作家

焼き菓子や
アート雑貨
などの販売

ワークショップ

- ライブペインティング
- わりばしてっぼう
- だがし屋「たかび～商店」

展示ブース

共生社会を目指す
団体の活動報告
& 展示コーナー

主催: 一般社団法人
アート・インクルージョン

後援: 社会福祉法人宮城県社会福祉協議会

仙台市青葉区一番町3丁目8番14号
スズキアバンティビル3F

TEL.022-797-3672

第501軍団がやってくる!

銀河の彼方からゲストが襲来!
お花見マルシェのパトロール中
帝国軍とジャンジャン写真を撮っちゃおう!!

「あにばる」の着ぐるみと友達になってくださいね。

ぶらんど～むでボクを見つけてね。

エモドナル五世

このイベントは令和5年度社会課題解決『みやぎチャレンジプロジェクト』の助成事業の支援を受けて実施しています。

Ai News Paper

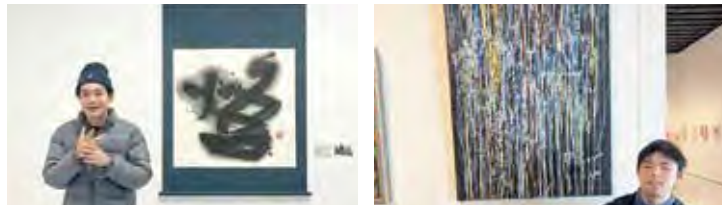
Event & Program

エーアイニュースペーパー

2025年3月号/vol.72

制作・編集：Aiスタッフ&パートナー
コウセイ、S・i G・M

■メディアテークのイベントに行ってきました



メディアテークで開催された「見本市」と「ピュア・ハーツ アート展」の見学に行ってきました。写真はDAIKIさんとカムイさんの作品です。

■ほっぷの森フェスティバルが開かれました



就労支援施設「ほっぷの森」主催のイベントが開催されました。市内6会場で展示が行われ、オープニングイベントではほっぷの森のメイン会場では、Aiスタッフの笙YUUさんの演奏&トークショーや有志による音楽ライブが行われました。Aiギャラリーの会場では佐々木学さんの「失語症のラーメン日記」の展示とオンラインでのトークを配信しました。

■「お花見マルシェ」でお待ちしております



日時: 3/15(土)

11:00~15:00

場所:
ぶらんど〜む一番町
アーケード内

一足早いお花見は、街中での「お花見マルシェ」お菓子やアート雑貨の販売やワークショップのイベントとともに、銀河から帝国軍が襲来したり、着ぐるみ達とのふれあいやいろんなパフォーマンスも楽しめるワクワク、ドキドキのイベントです。お買い物がてらにぜひお立ち寄りください。

■「みやぎチャレンジプロジェクト」のご協力 ありがとうございました

皆さんのあたたかいご支援で協賛に感謝いたします。この支援はAiの今後の活動に有効に活用させていただきます。本当にありがとうございました。

■ふれララに出店します。



日時: 3/6(土) 10:00~18:00

場所: 長町ララガーデン「おとのひろば」
長町ララガーデン1F「おとのひろば」にて「ふれあい製品販売会」が開催されます。障害施設で作った野菜、お菓子やおしゃれな雑貨など出揃います。Aiではアートグッズの販売をしまのでお近くにおいでの際は、ぜひお立ち寄りください。



日時: 3/16(日) 10:00~17:00

場所: 東北大学川内北キャンパス 講義棟A棟
「冬セミ」(東北大学ウィンターセミナー)は、「誰でもセンセイ、誰でもセイト」がコンセプトの、学生主体・学生主導による学びの場づくりプロジェクトです。Aiではこのイベントの出店します、ぜひ一緒に学んでみませんか?



■当事者研究全国交流会が開催されます



日時: 3/22(土) 10:00~16:00

場所: 東北エレクトロンホール宮城
当事者研究とは統合失調症や依存症などの精神障がいや発達障がいなど、メンタルヘルスの課題を抱える当事者自身が直面している生きづらさや体験を持ち寄り、「自分の研究者」としてテーマに向きあい、自分らしいユニークな発想で仲間や関係者とともに自分に合った「自分の助け方」や「理解」を見出していこうとする研究活動です。



詳細はこちらから▶

3月の展示のお知らせ

わい展

@びすた〜り榴ヶ岡

宮城野区榴ヶ岡5番地 みやぎNPOプラザ1F

Saiko展

@cafe JhoJho

太白区長町1-2-8(長町病院入口)

たがピー展

@TFU cafeteria Olive

宮城野区榴ヶ岡2-5-26 東北福祉大学仙台駅東口キャンパス1F

■オンライン企画Vol.53

3/26(水) 11:00~15:30

■オープンスタジオ

3/22(土)・30(日) 11:00~16:00